

ディスペンセーションを分かりやすく

神の契約の上に すべてはある

八つの契約 七つの時代

アウトライン

- I. 契約とは？
 - II. 七つの時代と八つの契約
 - III. まとめと適用
- 恵みの時代の
使命に生きよう





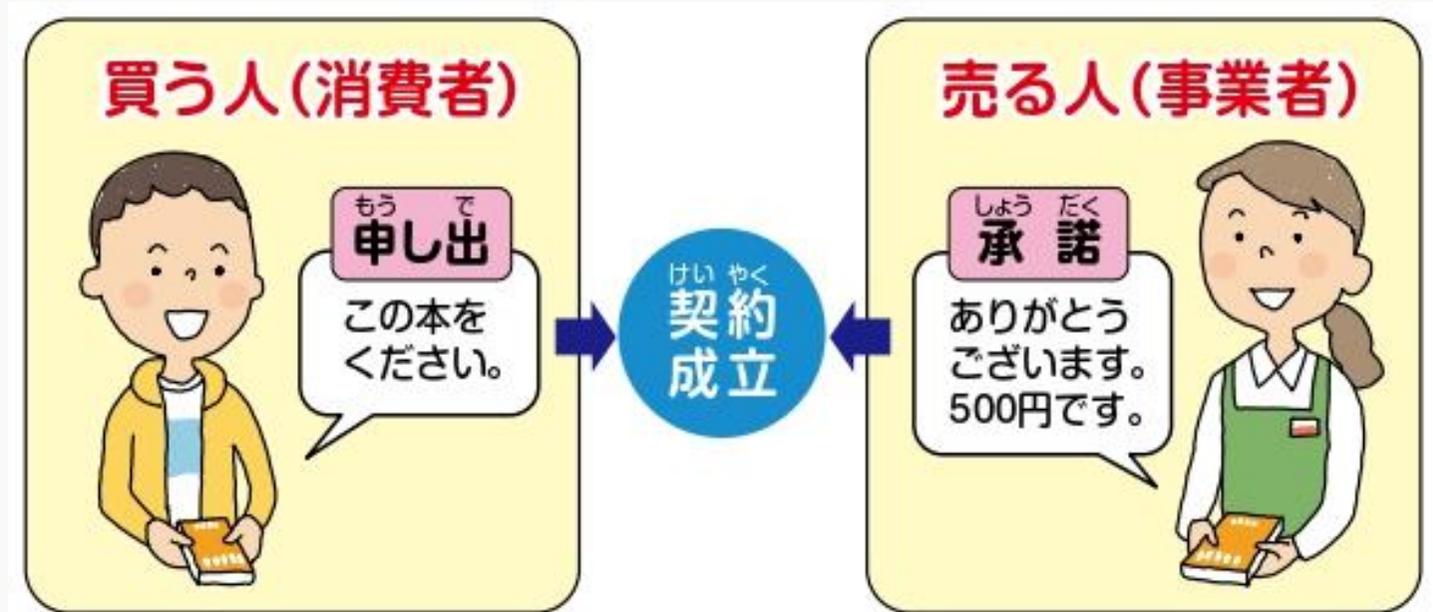
1. 契約とは？

契約って、なんだろう？

■「契約」と聞くと難しい？ 自分には関係ない？

➔実は、誰もが日々、**契約**を結んでいる。

■買い物も**契約**➔



人間社会は、契約の上に成り立ってる

そもそも契約って何？

【契約】を広辞苑でひいてみると…

- ① 約束。
- ② 法。
- ③ キリスト教で、神が救いの業をなしとげるために人間と結ぶ恵みの関係。



契約は、約束、法。最初に、神が人に与えられた!!

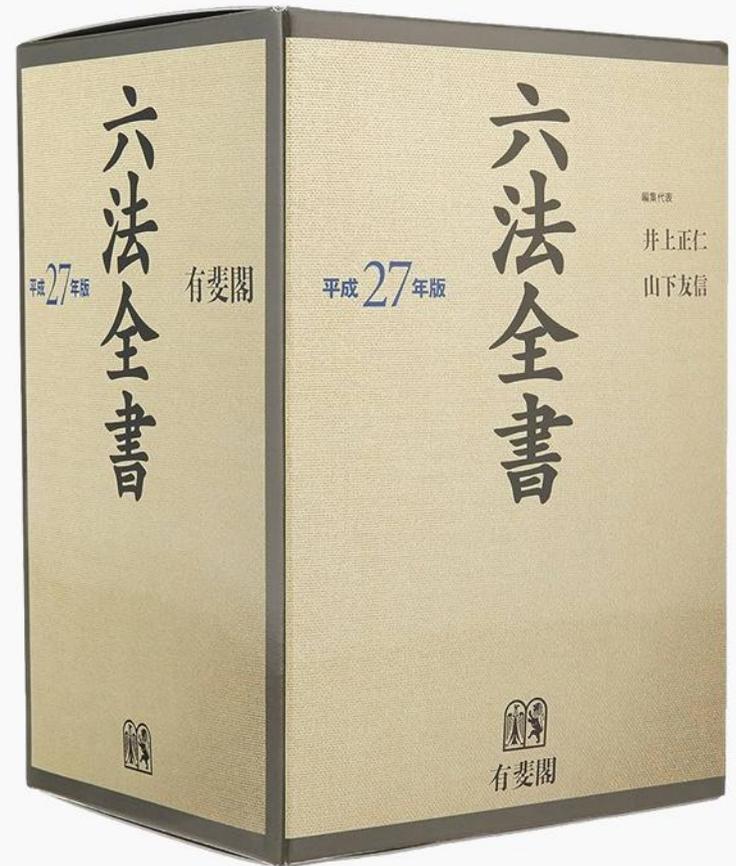
世界は、**法則**で動いている。
朝が来て夜が来るのも、
飛行機が飛べるのも、
法則という、
天地を造られた
神の**約束**があるから。

神の約束の上に世界はある!!



犯罪って？ 罪って？

- 「犯罪」とは、法を犯すこと。
法を犯した人が、「犯罪者」



聖書による「罪」とは？

「神の約束」は何に書かれてる？

→「**聖書**」

「罪」とは、「神の約束を破ること」

聖書とは、神の**聖**なる約束の**書**

旧約聖書

(古い契約)

新約聖書

(新しい契約)

聖書は、神と人類との「**契約の書**」

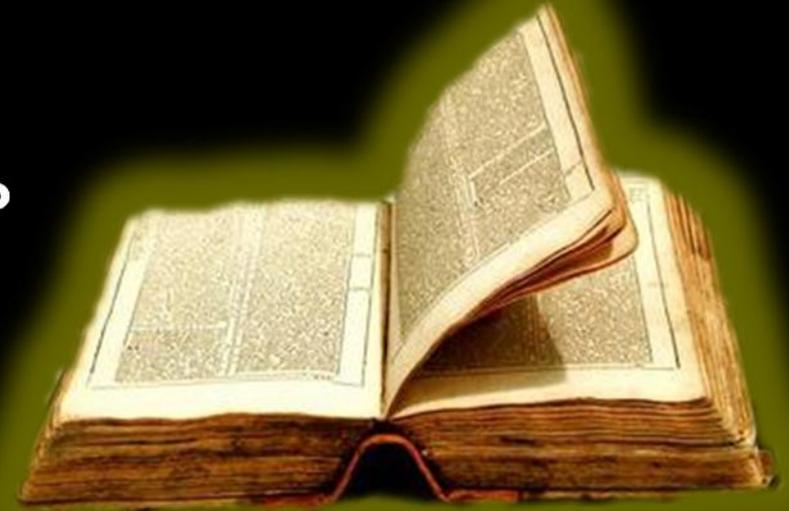


神に罪は犯せる？

神に、罪は犯せない。

神は、全知全能。不可能はないが…。

神にできないことが、ただ一つ、
➡約束を破ること

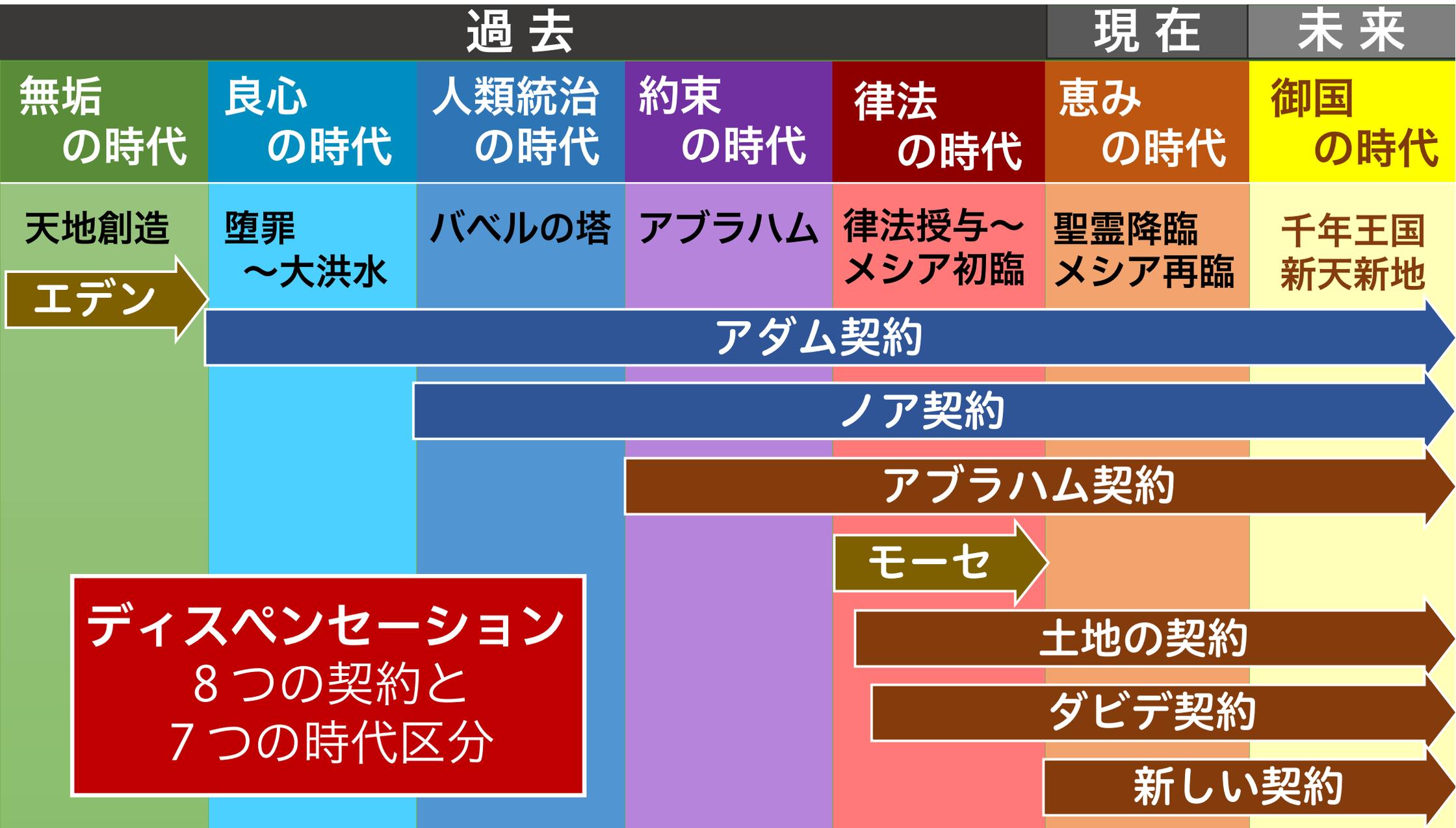


神は、義。正しい方。約束を必ず守る方だから。

神は、約束を守る。罪はおかせない!!



II. 七つの時代と八つの契約



ディスペンセーション
8つの契約と
7つの時代区分

①無垢の時代

①エデン契約

「はじめに神が天と地を創造された。 創世記1:1」

「『光あれ』すると光があった。 創世記2:3」

神の言葉通り、世界は造られた。

神は義。言葉通りに正しい方。

→神の言葉は、すべて実現する。

神の言葉は、すべてが約束の言葉!!



神の言葉の通りに、
六日間で世界は造られた。
最後に神は、人間を造られ、命じられた。

神の約束の言葉によって世界は造られた!!

①無垢の時代

①エデン契約

「生めよ。増えよ。地に満ちよ。
地を従えよ。…すべての生き物を
支配せよ。創1:28」

「あなたは園のどの木からでも
思いのまま食べてよい。しかし、
善悪の知識の木からは、食べては
ならない。その木から食べるとき、
あなたは必ず死ぬ。創2:16」



人は神の栄光に
包まれていた

なぜ神は契約(約束)を結ばれた？

もし、神の契約(約束)がなかったら？

無制限に完全さを求められる → 実行不可能

約束は、神ご自身を束縛。人類のハードルを下げる。

一定期間、善悪を知る木の実を食べなければ、合格!!
世界は永遠に人類の手に委ねられたはずだった。

神の契約は、一方的に与えられる「恵み」

過去				現在	未来	
無垢の時代	良心の時代	人類統治の時代	約束の時代	律法の時代	恵みの時代	御国の時代
天地創造 エデン	墮罪 ～大洪水	バベルの塔	アブラハム	律法授与～ メシア初臨	聖霊降臨 メシア再臨	千年王国 新天新地

赤ん坊のように
無垢だったが...

②良心の時代

②アダム契約

破られた契約

人は、墮天使サタンに騙され、
善悪を知る木の実を食べた。

→神の約束を破った「**最初の罪**」

その瞬間、神の栄光は去り、

人は**神から断絶!!**

→**死** (霊的死)

罪を犯した人は、神の前に
出ることができなくなった。



①良心の時代

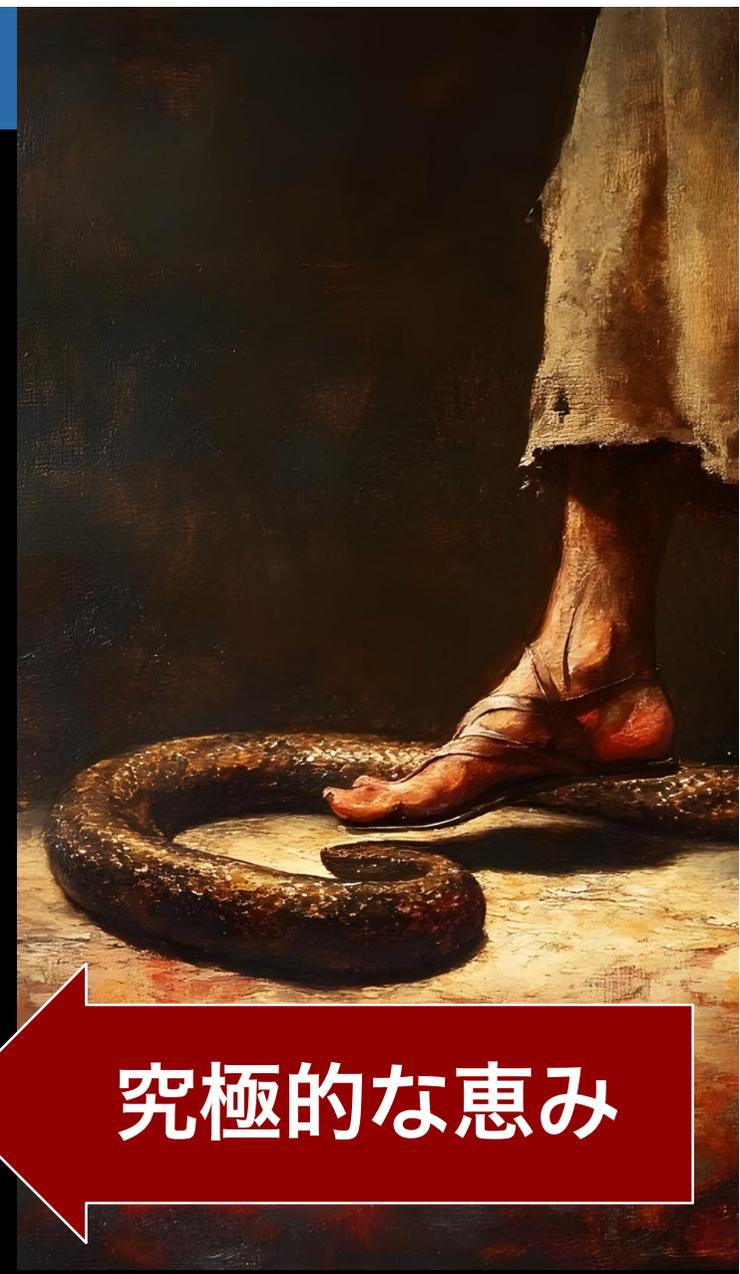
①アダム契約

神は、背後にいたサタンに告げた。

「わたしは敵意を、おまえと女の間、
おまえの子孫と**女の子孫**の間に置く。

彼はおまえの頭を打ち、おまえは
彼のかかとを打つ。創3:15」

女の子孫から現れる**救い主(メシア)**が、
命を犠牲にしてサタンに勝利する!!



究極的な恵み

①良心の時代

②アダム契約

神の約束なしに人は生きられない。
神は、次なる契約を結ばれた。

→アダム契約

- アダム契約の下での人間の状況
 - ・ 労働と出産に苦しみが伴う。
 - ・ 肉体は死ぬ。

それでも人は生かされ、守られた



①良心の時代

②アダム契約

■ 神は、エデンの園を追い出す際、動物の皮の衣を着せられた。

→ 動物の命を犠牲にすることで神とかがろうじてつながり、人間が存続していけるように。

→ あくまでも、**メシア**が来るまでの一時しのぎ

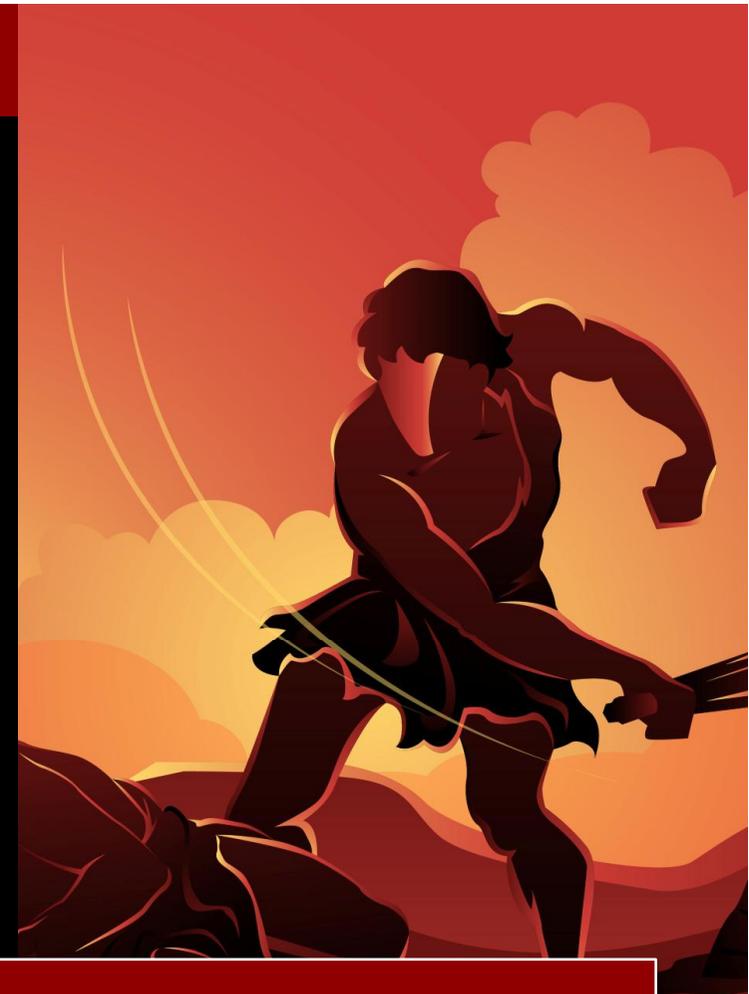


動物の犠牲も
神の恵み

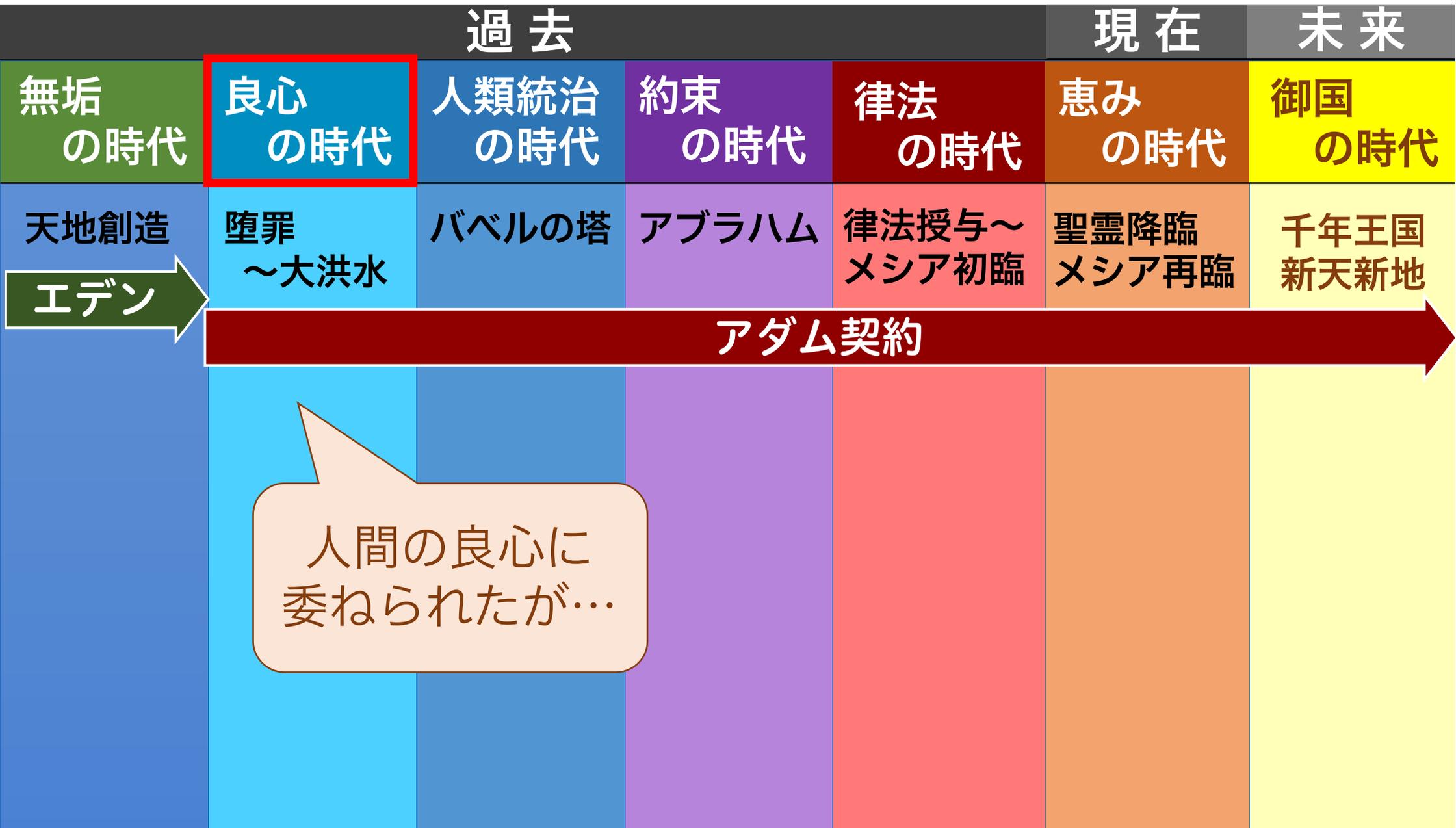
①良心の時代

カインとアベル

- アダムとエバの子、カインとアベル。
カインは作物、アベルは羊を神に献げた。
→ 神が受け取ったのは、アベルの羊
- カインは、アベルをねたんで最初の殺人を!
- 神には、犠牲の動物を献げる必要があった。
→ 分かっているながら拒んだのは、カイン
- それでも生かされたカインだが、
神に逆らい、定住して子孫を増やし、
子孫はさらに大きな罪を重ねた。



人間の良心は
平和を保てなかった



③ 人類統治の時代

③ ノア契約

人類の極まる罪の末に

欲望のままに人々を虐殺する者が現れ、
女たちは悪魔や悪霊と交わるように。

人間は罪を重ね、自ら滅びの道へ…。

神は、大洪水で世界を滅ぼすと決めた。

神に従い、**箱船**を造って乗り込んだ
ノアと家族8人だけが救われた。

箱船が示すのは、メシア



③ 人類統治の時代

ノア契約

神は、大洪水で世界を滅ぼすこと
はないと、一方的に約束された。

「人の心が思い図ることは、幼い
ときから悪であるからだ。わたしは、
再び、わたしがしたように、生き
物すべてを打ち滅ぼすことは決し
てしない。創世記8:21」

神は、約束のしるしとして、
空に**虹**をかけられた。



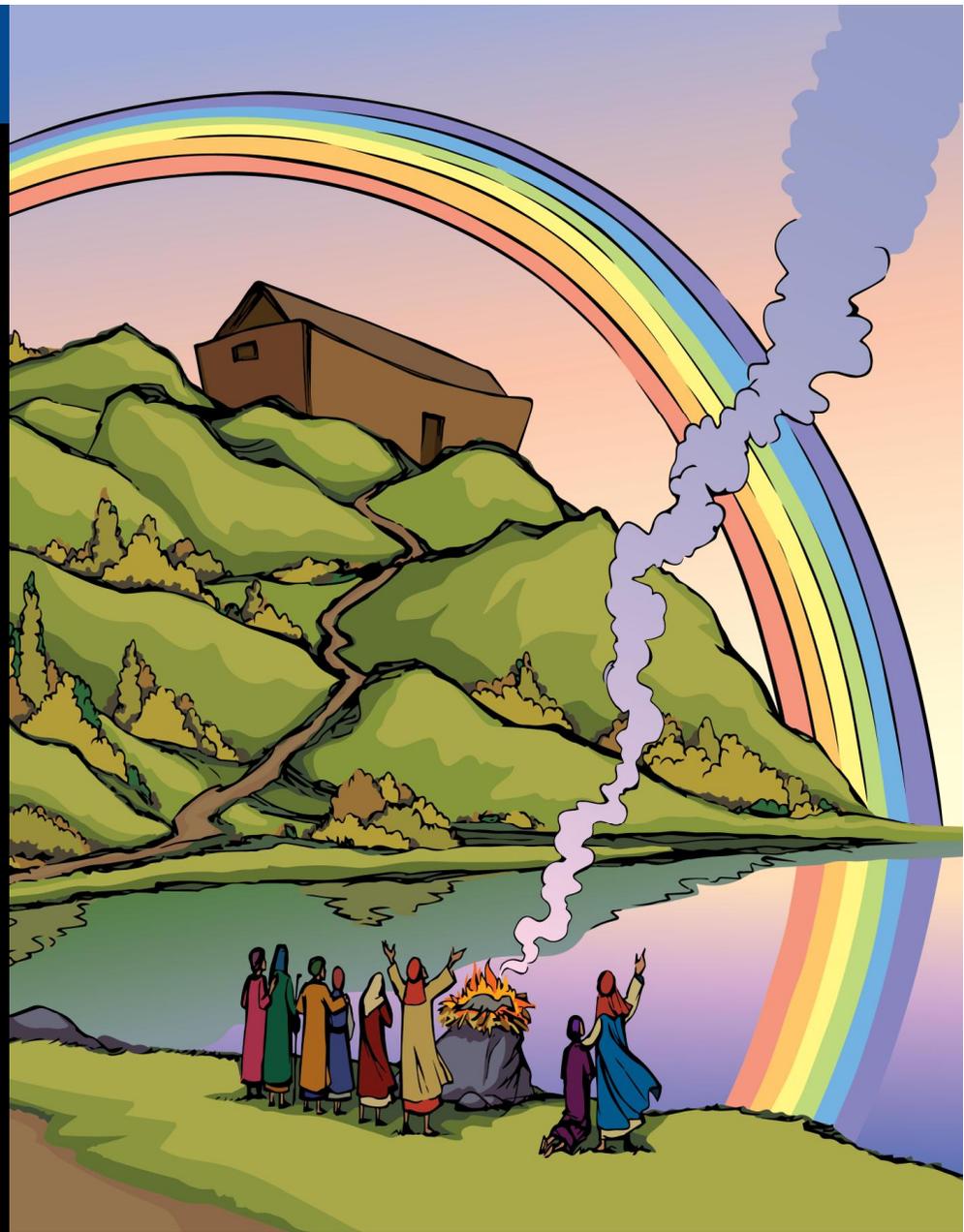
虹は神の恵みのしるし

③ 人類統治の時代

ノア契約

- ① 「地に満ちよ」
- ② 動物たちは人を恐れる
- ③ 肉食の許可
- ④ 血のあるまま食べてはダメ
(生きたまま)
- ⑤ 殺人に対する死刑

神は、恵みをもって
命の大切さを教えられた



③ 人類統治の時代

バベルの塔

再び増え広がった人は、
またしても罪を重ね、神に背き、
自らの力を誇り、巨大な塔を建設。

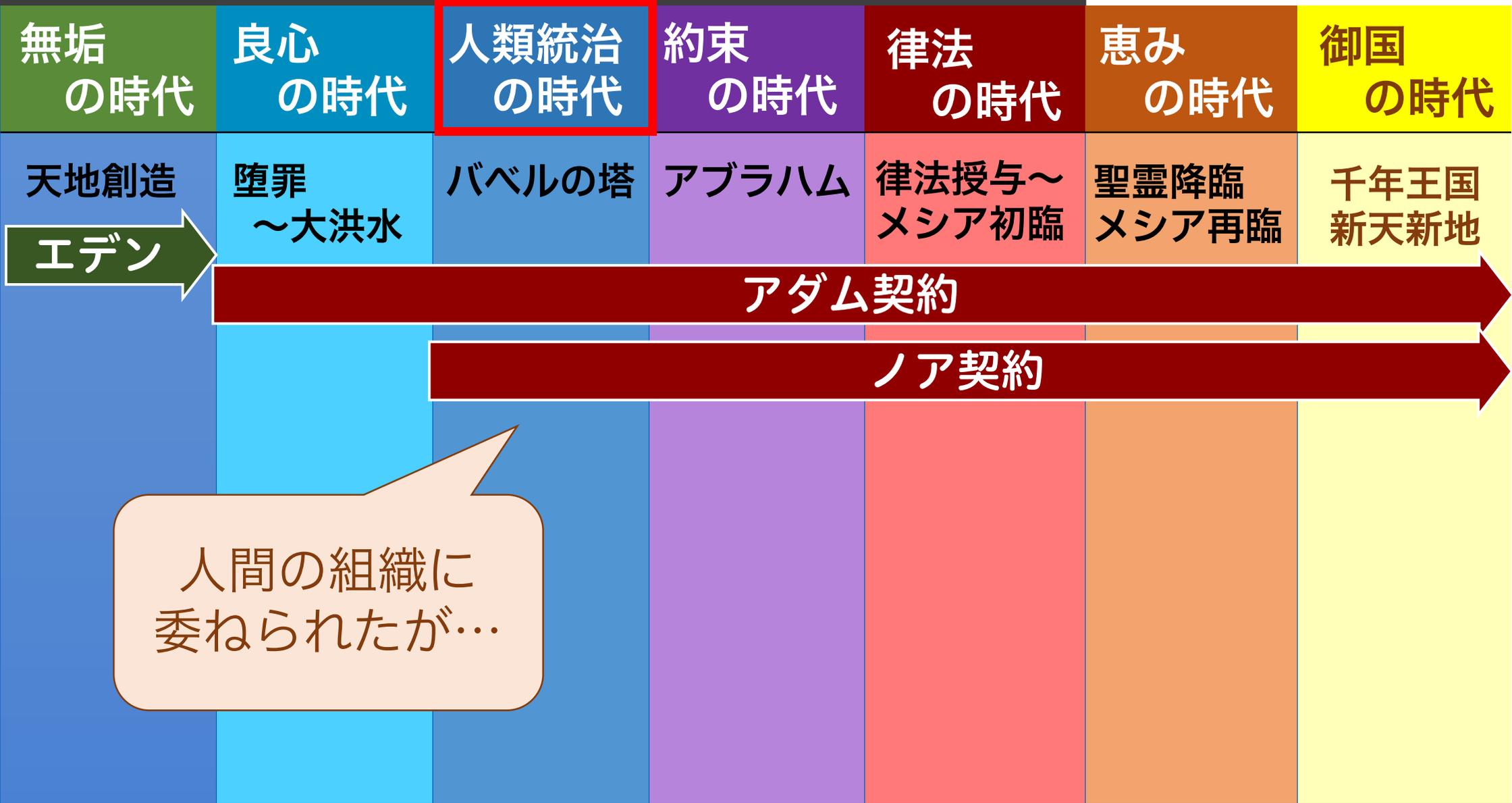
神は、人が破滅に陥る前に、
人の言葉をバラバラにした。

人は世界中に散らされ、自分たち
の神を造り、崇めていった。



人間の組織は、
世界を統治できなかった

過去



④ 約束の時代

④ アブラハム契約

④ 約束の時代

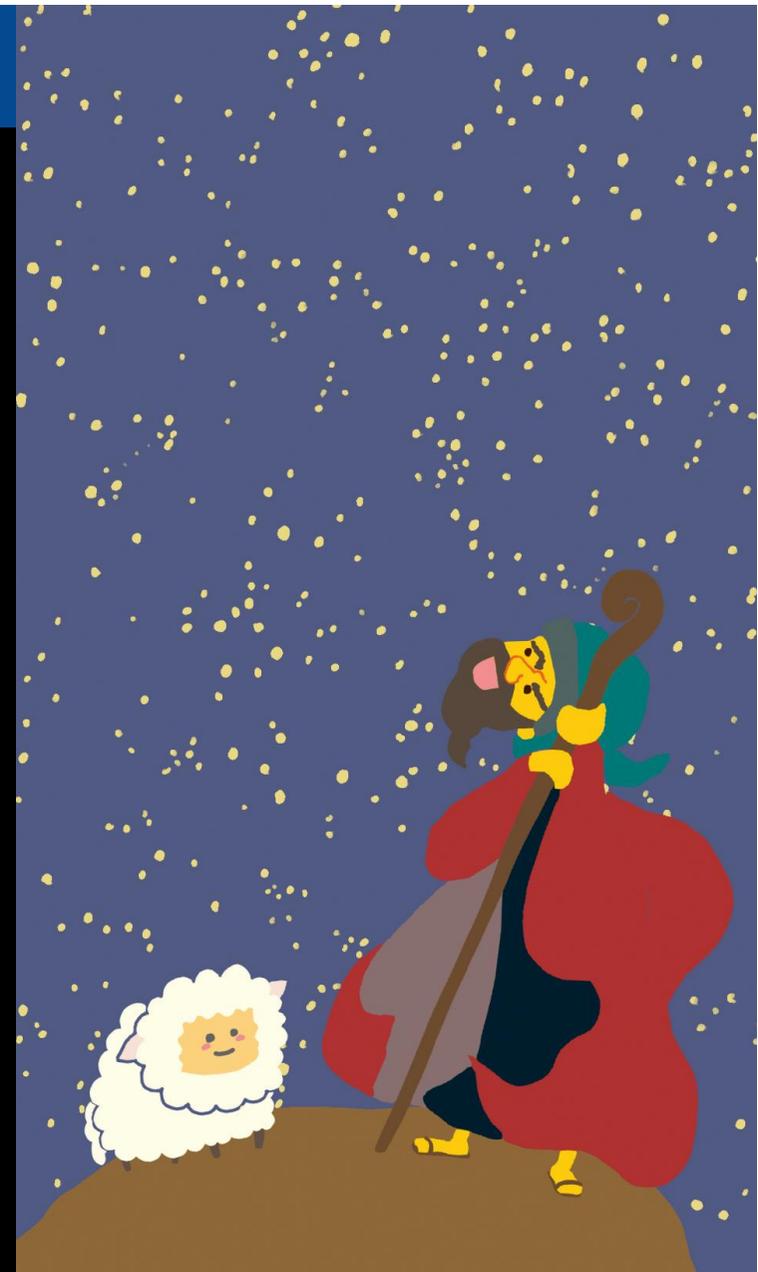
④ アブラハム契約

神は、**アブラハム**という一人の人を選ばれた。

神を信頼して未知の世界に旅立った、**アブラハム**に、神は約束された。

アブラハムの子孫に土地を与え、繁栄させ、一つの民族を誕生させる。
その民族の子孫に、やがて**メシア**が誕生する。

**「地上の氏族はすべて
あなたによって祝福に入る。創世記12:3」**



④約束の時代

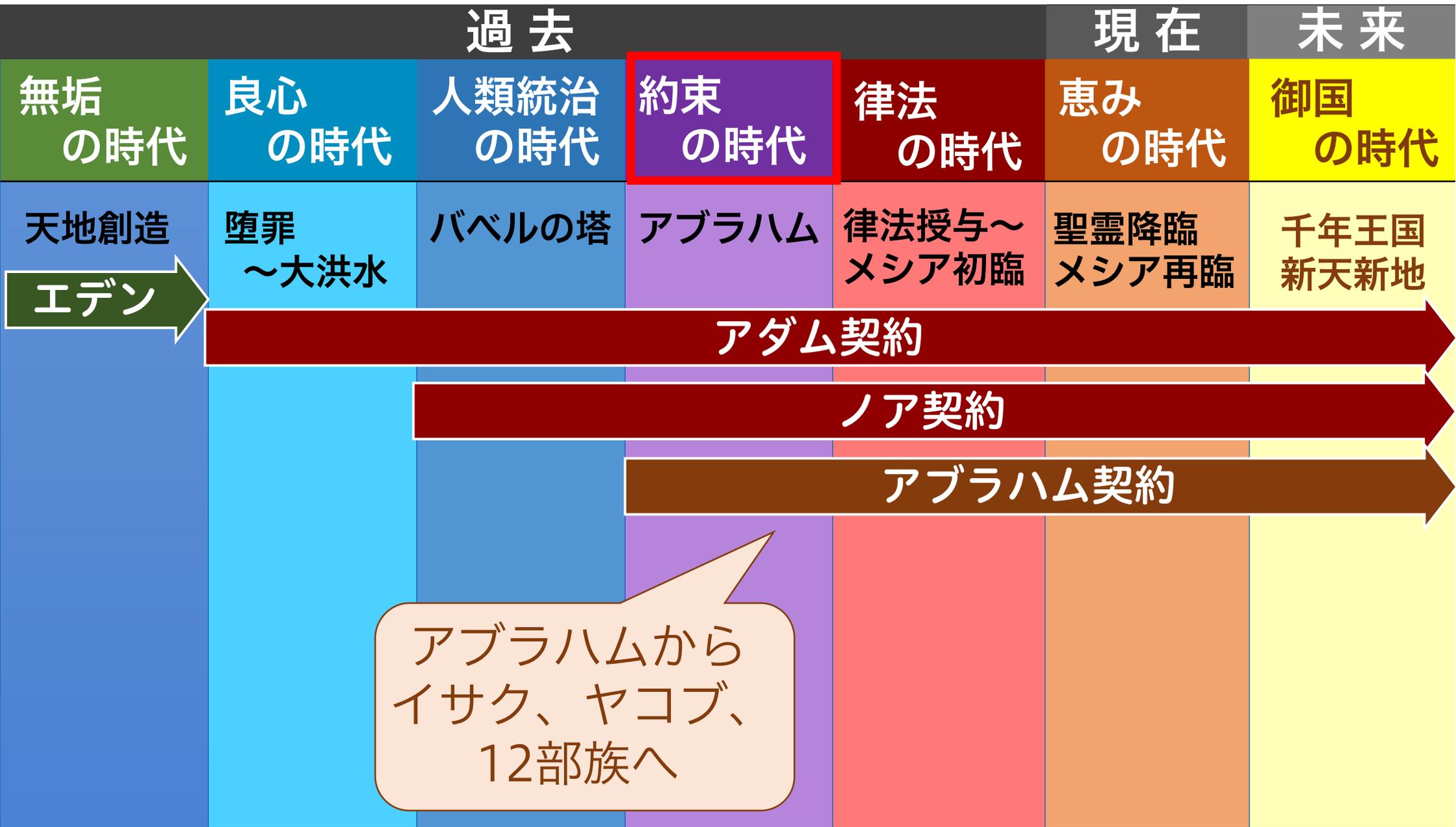
イスラエル民族の誕生

アブラハムから、イサク、ヤコブへ。
ヤコブには、イスラエルという名が
与えられた。

ヤコブの12人の息子の子孫が、
のちに、イスラエル12部族となる。

飢饉のためにエジプトに逃れ、
400年の間に、何百万人に増大。
イスラエルという一つの民族に!!





⑤律法の時代

⑤モーセ契約（律法）

⑤律法の時代

エジプト脱出

エジプトで奴隷として苦しんでいた**イスラエル**は、神が立てたリーダー、モーセに導かれてエジプトを脱出、約束の地へ向かった。



⑤ 律法の時代

律法と幕屋

神は、シナイ山で、イスラエルと契約を結んだ。それが、**律法**。
613ある**律法**の中心が、十戒。

イスラエルは、唯一の神を愛し、従い、
神の民として互いに愛し合い、
律法に生きると誓った。

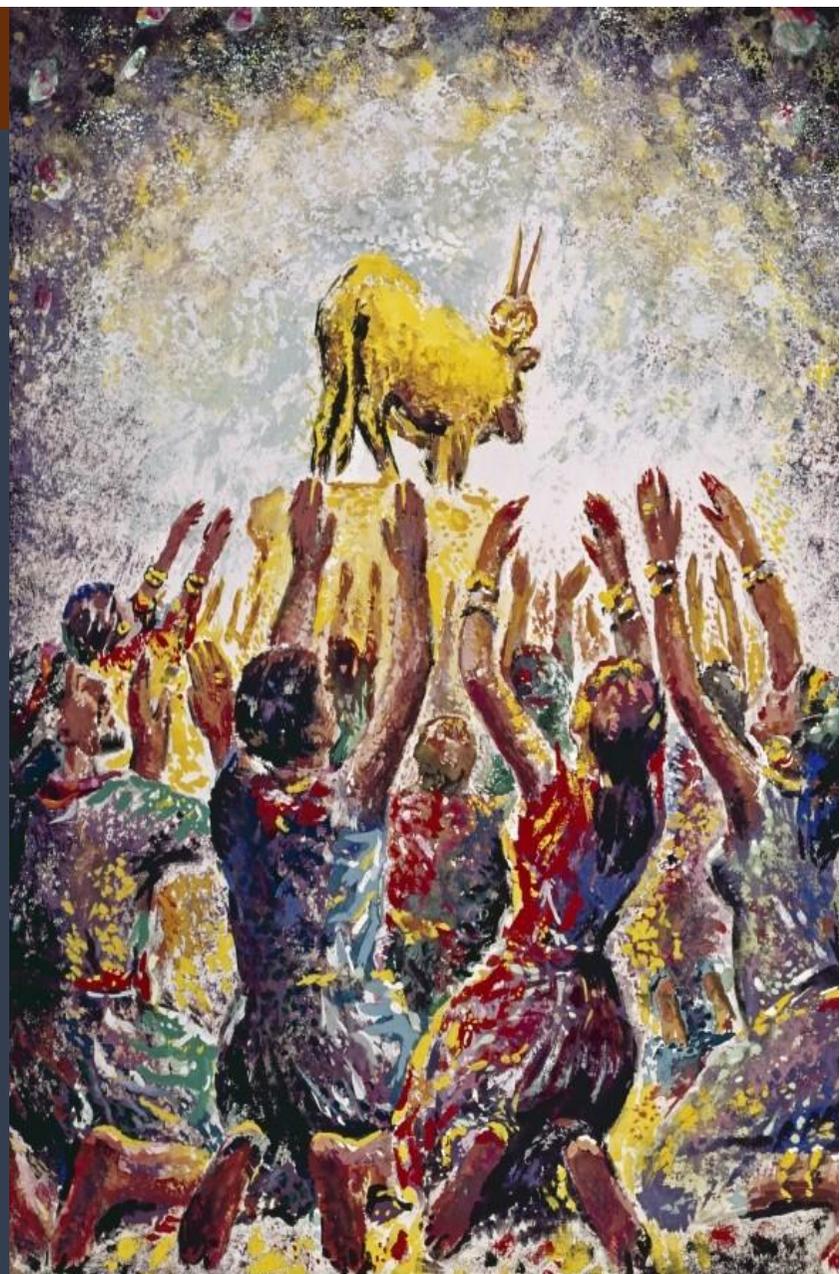
民は、神の律法で命じられたとおり、
幕屋(テントの神殿)を建てた。
幕屋に神の**栄光**が臨在し、民を導いた。



⑤ 律法の時代

律法の祝福と呪い

- モーセ契約・律法は、イスラエルを導く、アメとムチ。
- 律法に従えば、**祝福**があるが、律法に背けば、**呪い**がある。
- 約束の地へ旅だったイスラエルは、神に背き続けて、**呪い**を受けた。
→ その世代は荒野で死に絶え、約束の地に入れるのは次世代。



⑤ 律法の時代

律法が示すメシア

「律法が目指すものは**キリスト**です。

ローマ人への手紙10:4」

■ 律法は、イスラエルを**メシア**に導く
養育係(ガラ3:24)

■ 律法は、罪を教えるが(ロマ5:13)、
人を罪からきよめることはできない。
(ヘブル10:1)



律法の時代は、**メシア**に向かっていく!!



⑤ 律法の時代

⑥ 土地の契約

⑤律法の時代

①土地の契約

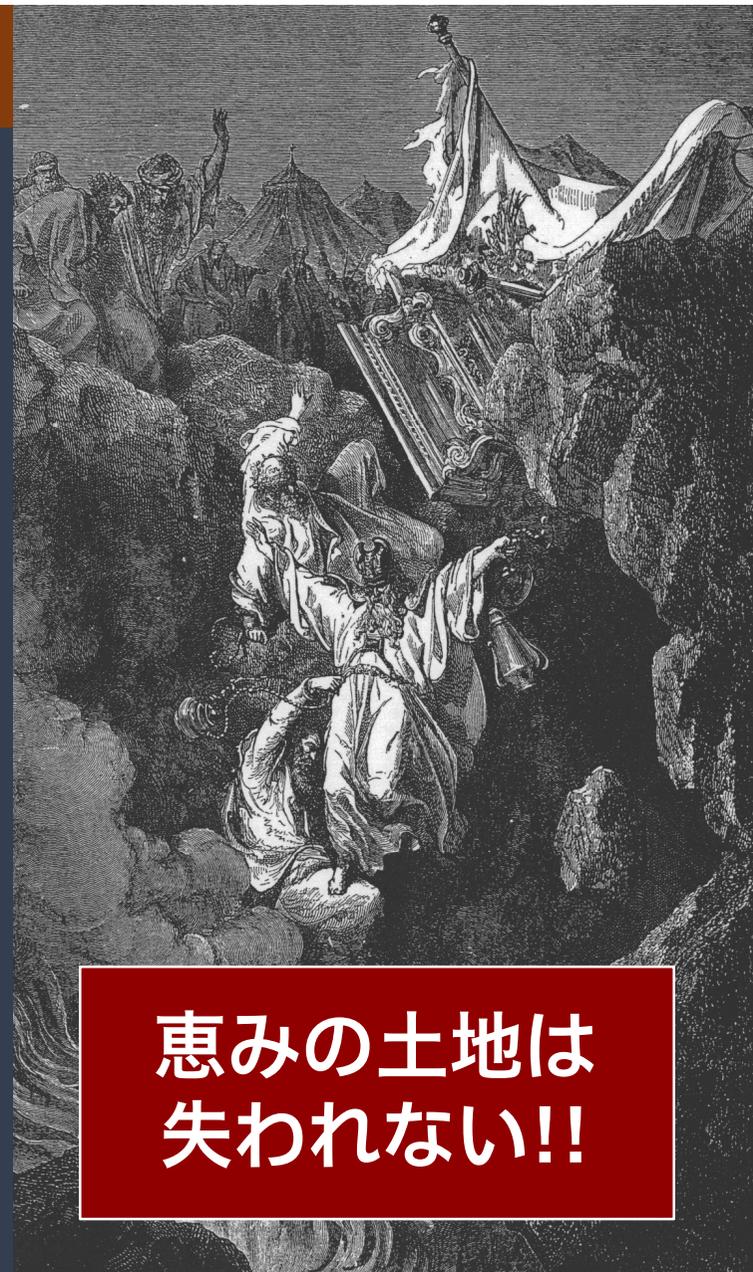
イスラエルは、40年荒野を放浪した。
約束の地を前に、神は別の契約を結んだ。

➔土地の契約(申命記29~30章)

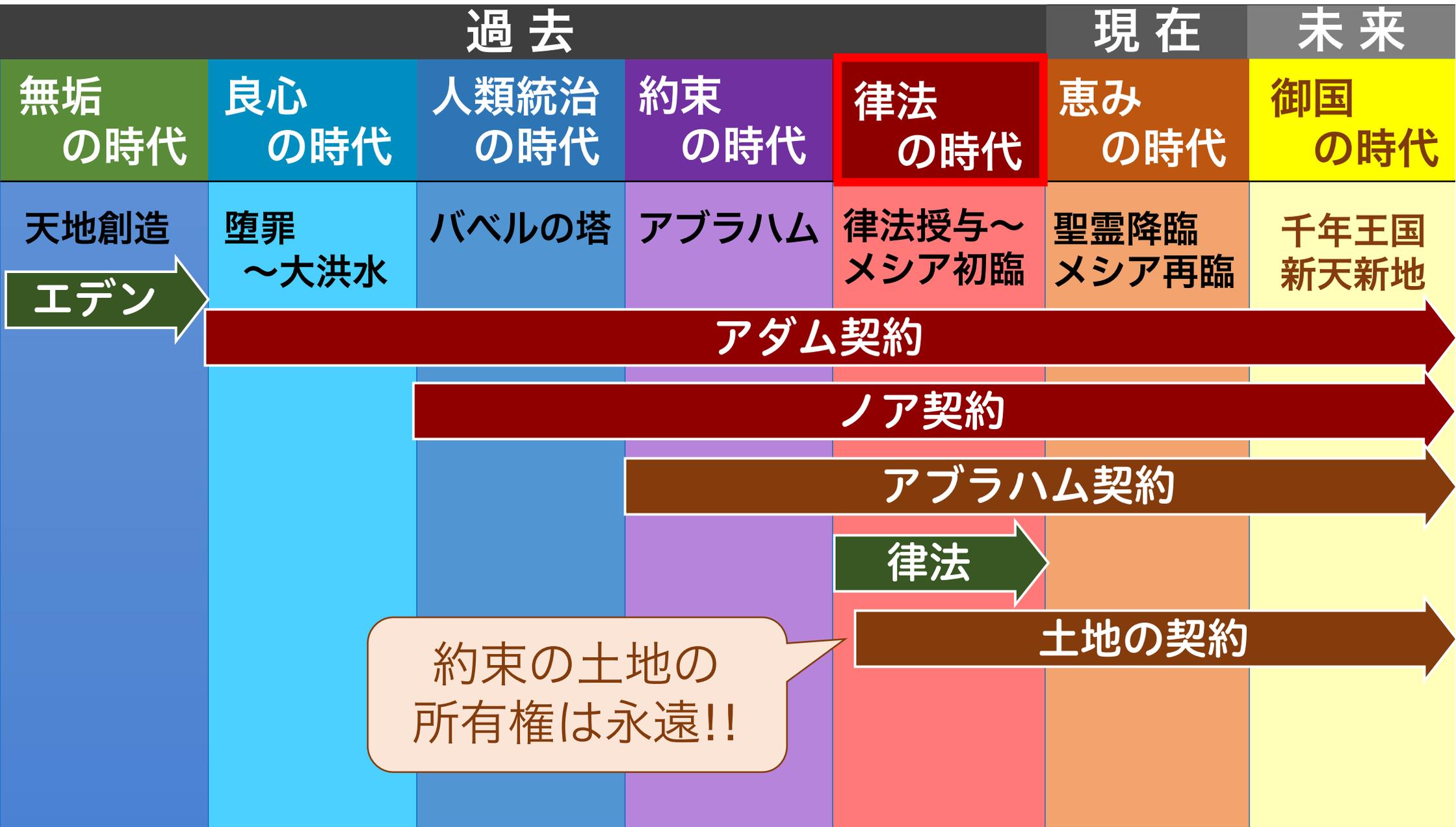
■土地の契約

- ①イスラエルは罪を犯し、土地を失う。
- ②やがて再び約束の土地に集められる。
- ③約束の土地を完全に所有する。

※土地の占有権は失うが、所有権は不変



恵みの土地は
失われない!!



⑤ 律法の時代

⑦ ダビデ契約

⑤ 律法の時代

イスラエル王国

約束の土地に入ったイスラエルは、**偶像礼拝**に飲み込まれてしまった。

混沌と混乱の時代が数百年続いた後、
ようやく王が立てられた。
神によって選ばれた正統な王が、**ダビデ**。

ダビデは、イスラエルを統一し、
エルサレムを都に定め、
律法を納めた神の契約の箱を運び上げた。



⑤ 律法の時代

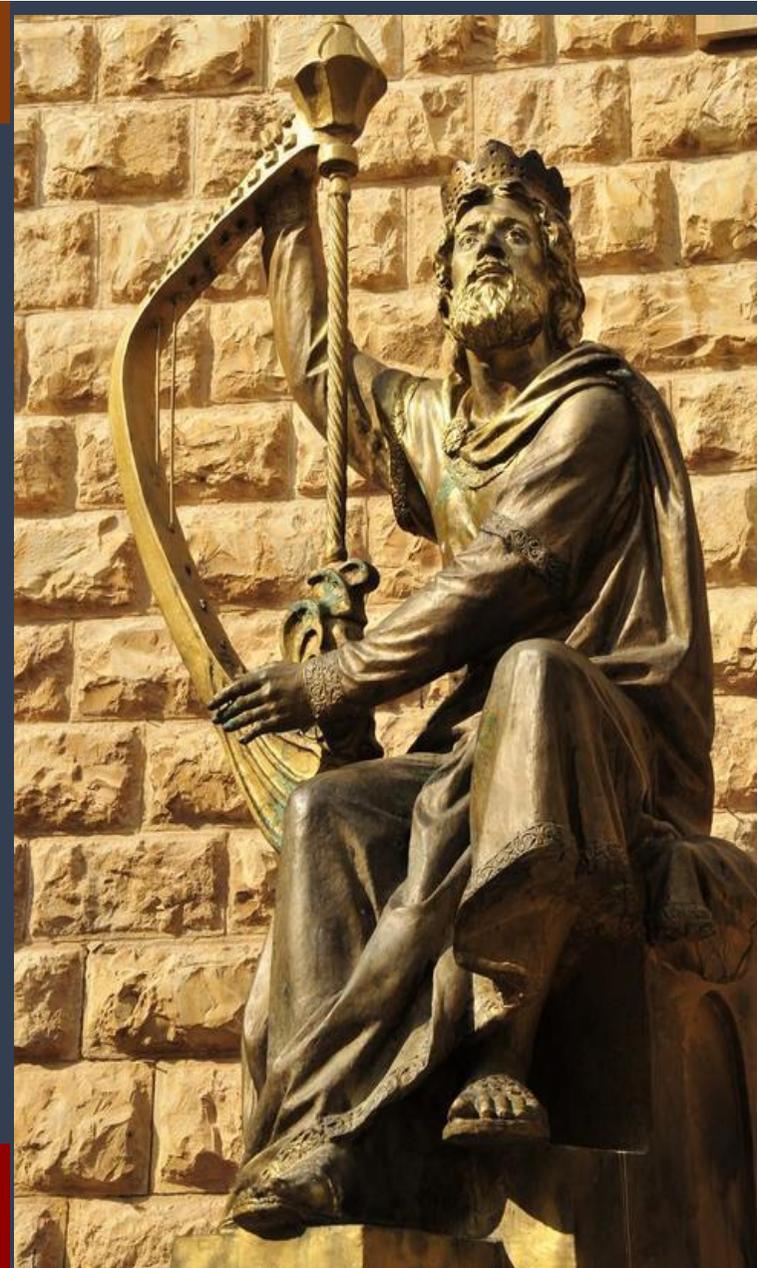
② ダビデ契約

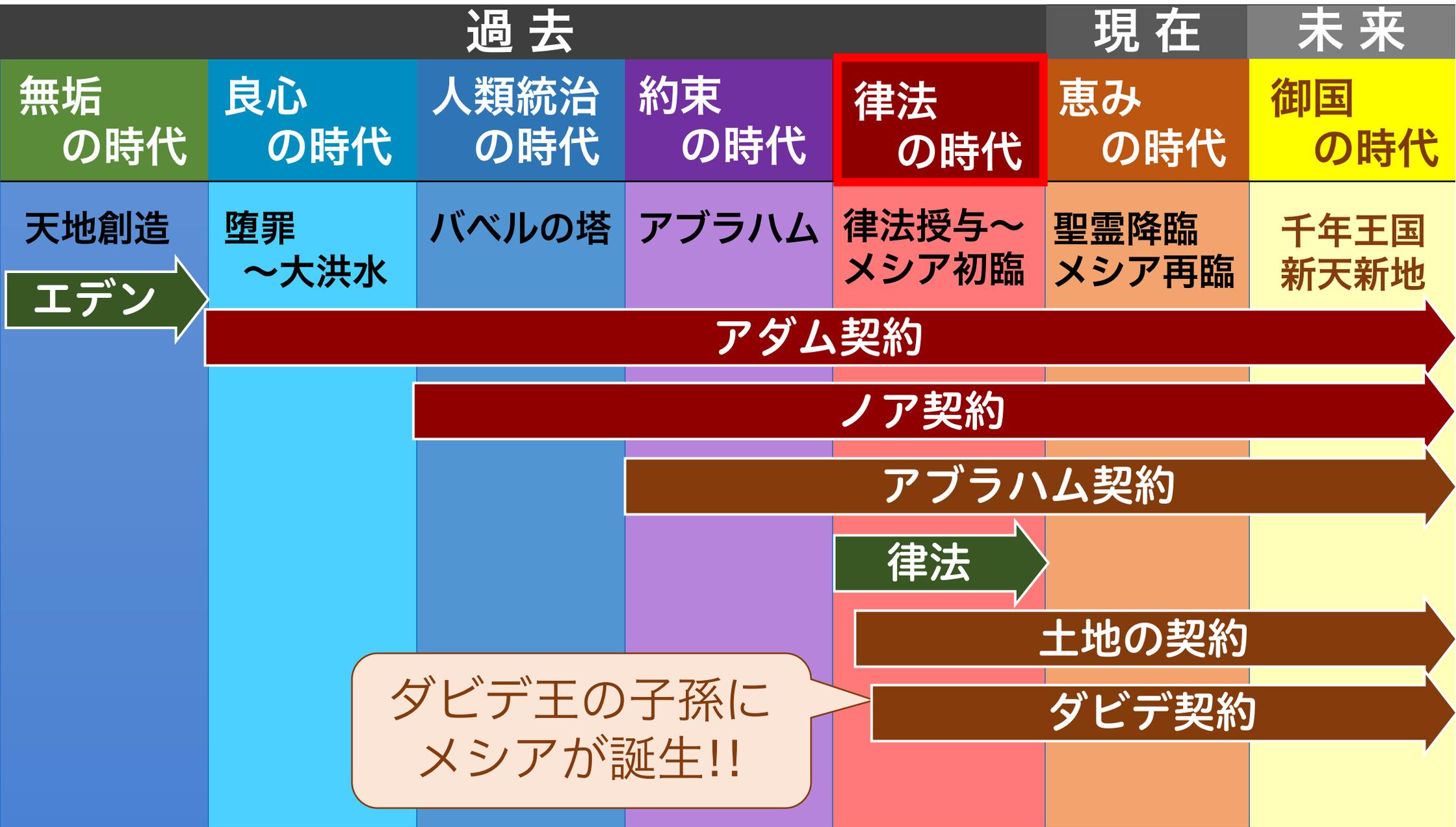
■ 神が、ダビデに約束された契約。
(IIサム7:11~16、I歴17:10~15)

■ ダビデ契約

- ① ダビデの子孫は、繁栄する。
- ② ダビデの王座は、永遠に続く。
- ③ ダビデの家系から出る**メシア**が、イスラエルの永遠の王となる。

ダビデ王の子孫から、**メシア**は誕生!!





⑤ 律法の時代

⑧ 新しい契約の予告

⑤律法の時代

神殿建設

ダビデの子、ソロモン王が、エルサレムの都に**神殿**を建てた。**神殿**に**神の栄光**が臨在された。

ソロモンが、外国との和平のためにめとった大勢の妻たちが、たくさんの偶像を持ち込み、イスラエルであがめられるようになってしまった。

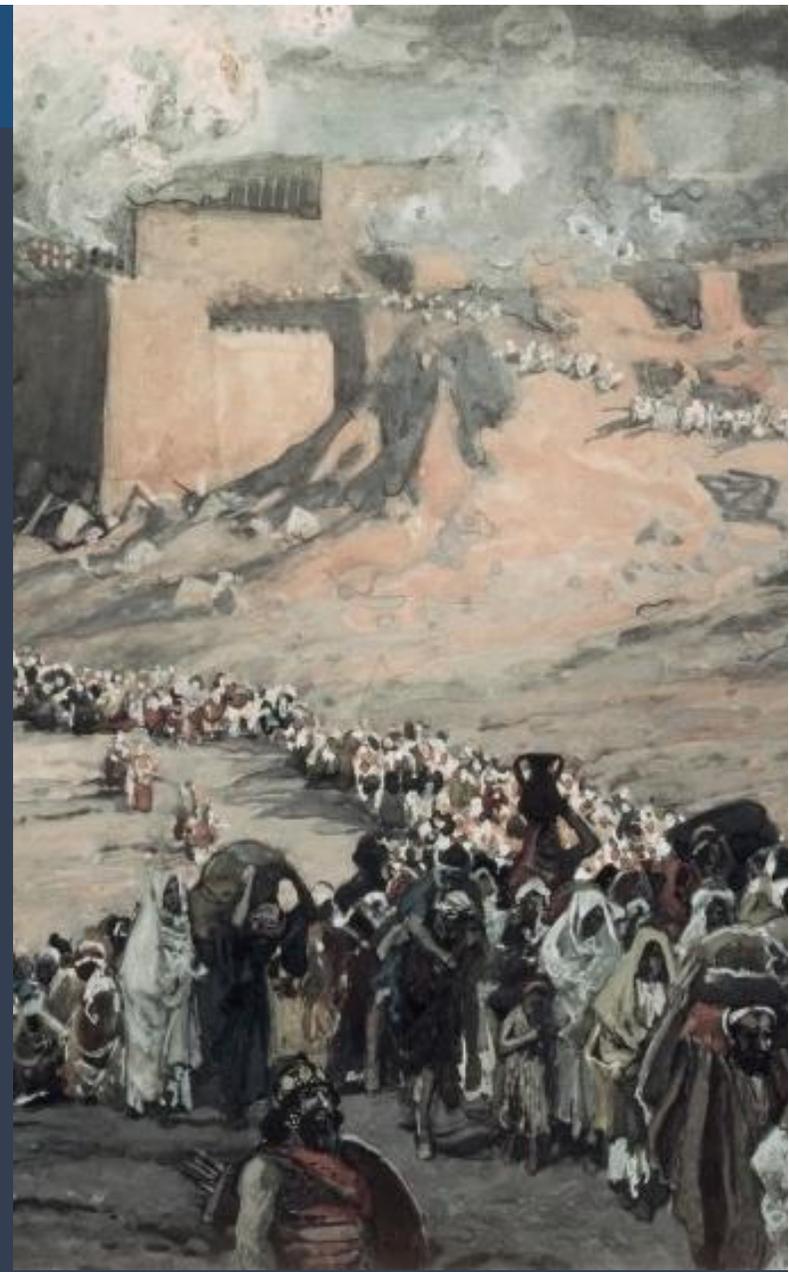
ソロモン王の死後、イスラエル王国は、北王国と南王国に分裂した。



⑤ 律法の時代

預言者エレミヤ

- 北王国が、偶像礼拝の末に、まず滅亡。南王国に、滅びを告げたのがエレミヤ。
- バビロニア帝国が侵略が始まり、ついにエルサレムが陥落。多くの人々がバビロンに強制連行された。
→ **バビロン捕囚 (BC586)**
- 神は、エレミヤに、イスラエルと将来、**新しい契約**を結ぶと約束された。



⑤律法の時代 預言者エレミヤに約束された 「新しい契約」

■ エレミヤ書31:31~33

見よ、その時代が来る—主のことば—。そのとき、わたしはイスラエルの家およびユダの家と、**新しい契約**を結ぶ。

その契約は、わたしが彼らの先祖の手を取って、エジプトの地から導き出した日に、彼らと結んだ契約(=律法)のようではない。わたしは彼らの主であったのに、彼らはわたしの契約を破った

—主のことば—。これらの日の後に、わたしがイスラエルの家と結ぶ契約はこうである—主のことば—。わたしは、わたしの律法を彼らのただ中に置き、彼らの**心にこれを書き記す**。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。

将来、律法に代わる「**新しい契約**」が結ばれる!!

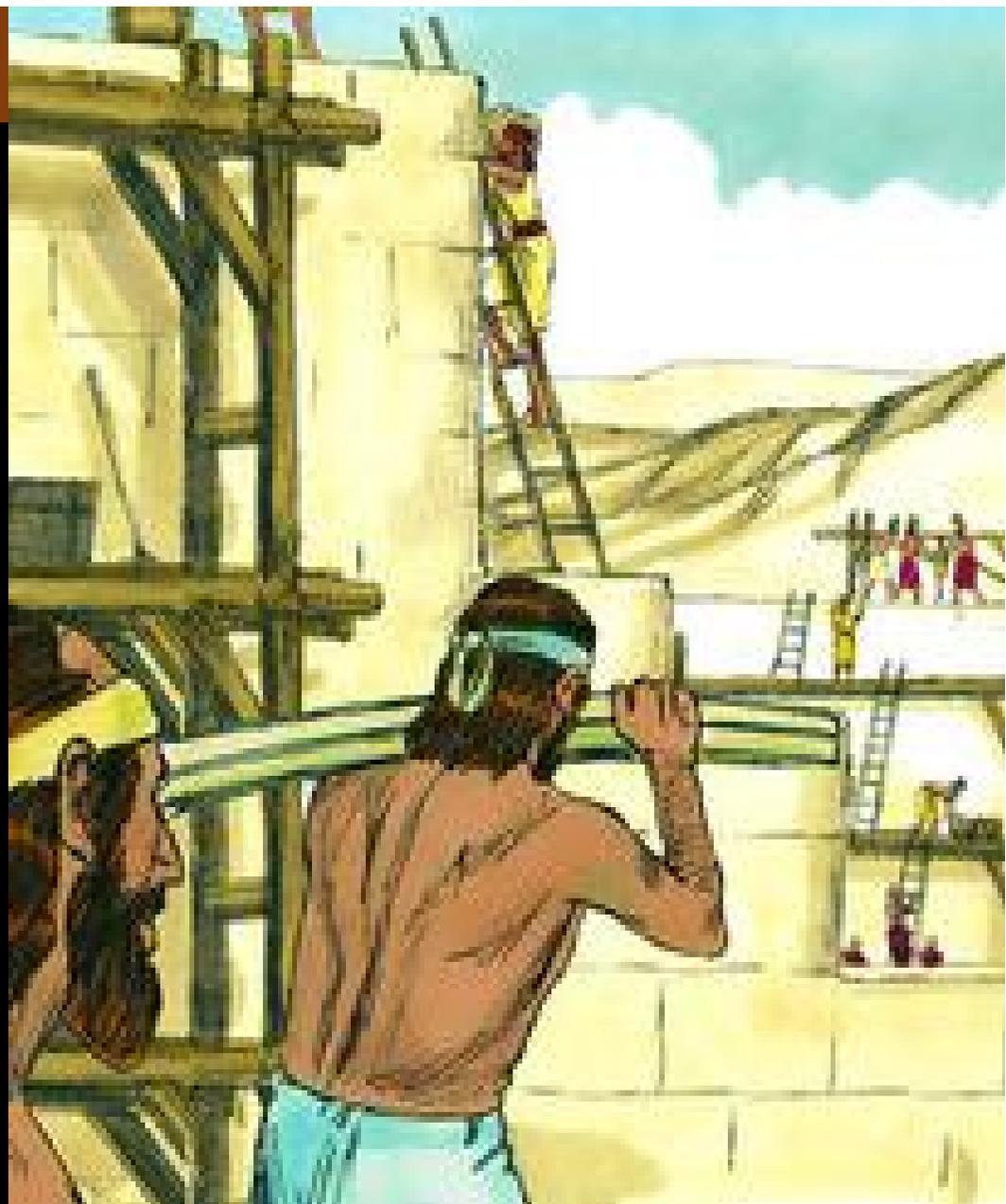
⑤律法の時代

神殿再建

70年後、イスラエルは捕囚から解放された。人々は少しずつエルサレムに帰還し、神殿を再建した。

しかし、再建された神殿に、**神の栄光**はなかった。

大国に支配され続ける苦難の中、**メシア**の約束だけが、イスラエルの希望だった。





将来、結ばれる
心に刻む契約!!

⑤律法の時代

⑧新しい契約の締結

バビロン捕囚の後も、
イスラエルの苦しみは何百年も続いた。

ついに、ダビデの子孫から**メシア**が誕生。

■ 天使の宣言 ルカ福音書2:11

「今日ダビデの町で、あなたがたのために
救い主がお生まれになりました。
この方こそ主キリストです。」



⑤律法の時代 メシアの活動

イエスは、
メシアとしての活動を開始。

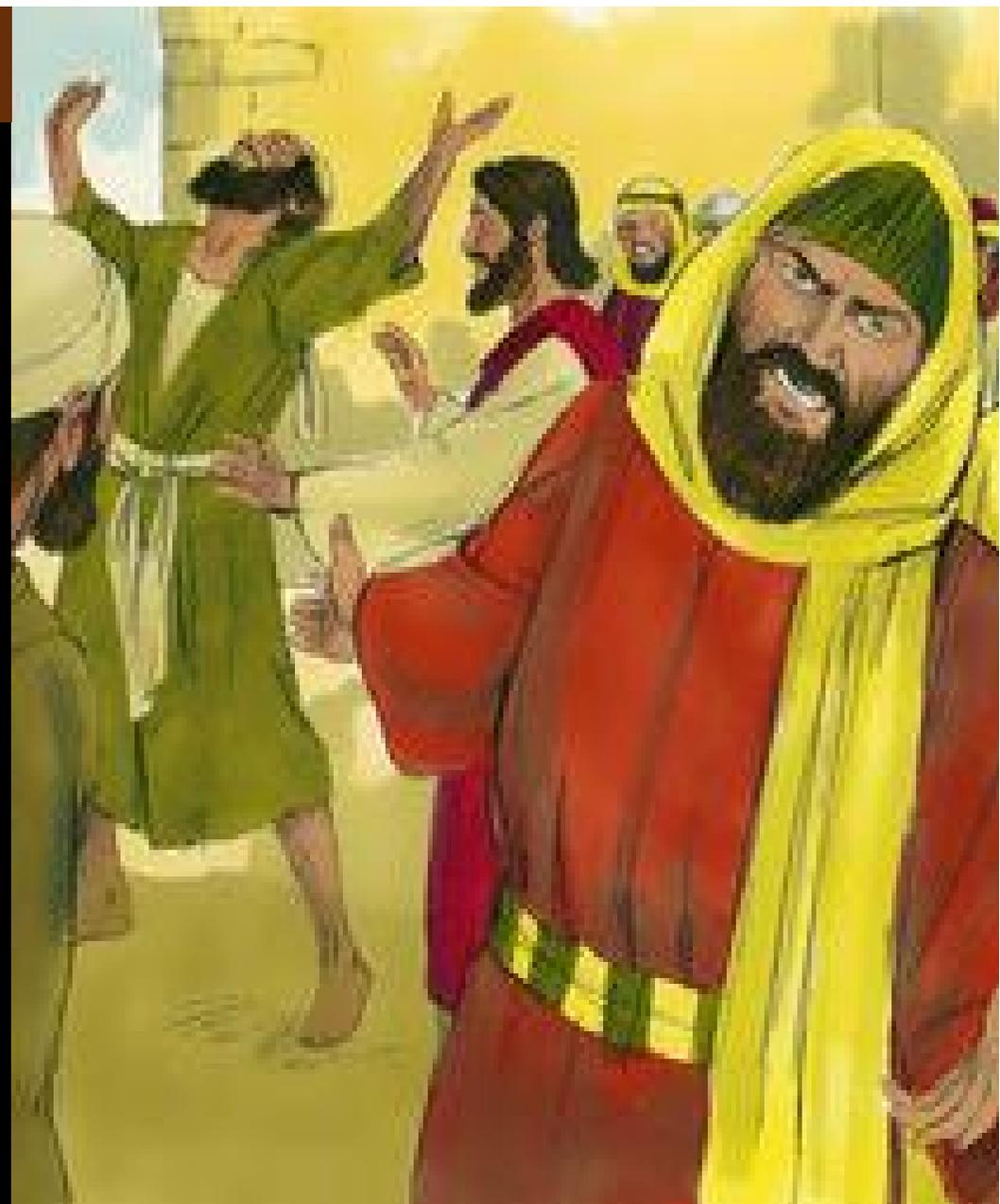
数々の奇跡を行い、
聖書を正しく解き明かした。

メシアは、神にしか
できない奇跡を示された



⑤律法の時代 指導者たちの拒絶

イスラエルの宗教指導者たちは、イエスは悪霊の力で奇跡を行っていると言って拒絶した。



⑤律法の時代

新しい契約の締結

■イスラエルのエジプトからの解放を祝う、最大の祭り、**過越祭**。その食事の席で、イエスは、ご自身こそ、罪からの真実の解放をもたらす**メシア**であると宣言された。

■ルカ福音書22:19～20

「これは、あなたがたのために与えられる、わたしのからだです。」

「この杯は、あなたがたのために流される、わたしの血による、**新しい契約**です。」



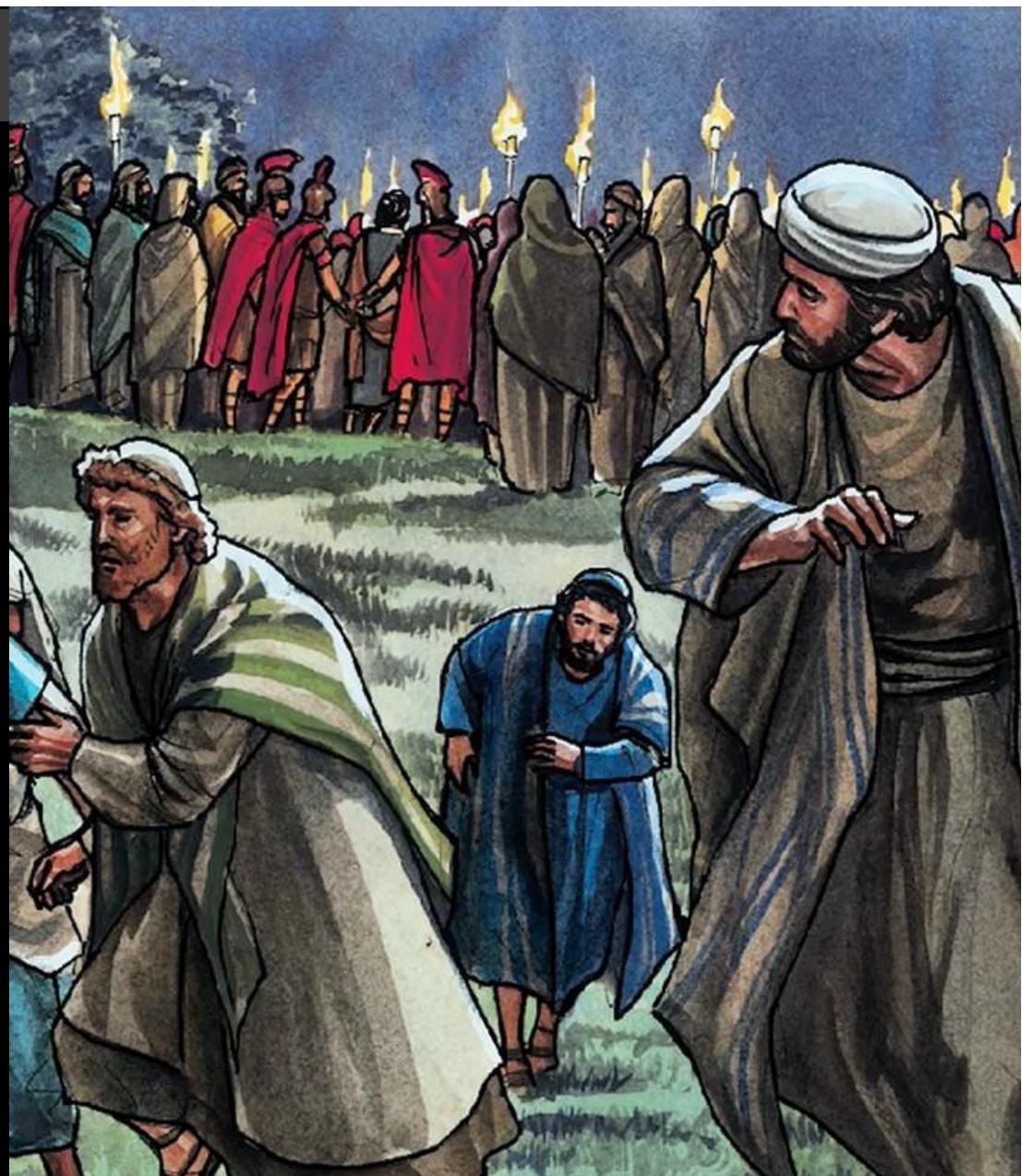
メシアを信じる者は、**新しい契約**によって救われる!!

⑤ 律法の時代

メシアの捕縛

イエスは、弟子のユダの裏切りによって捕らえられた。

ユダヤ議会の違法な裁判で、神を名乗り、神を冒瀆したと死刑が宣告された。



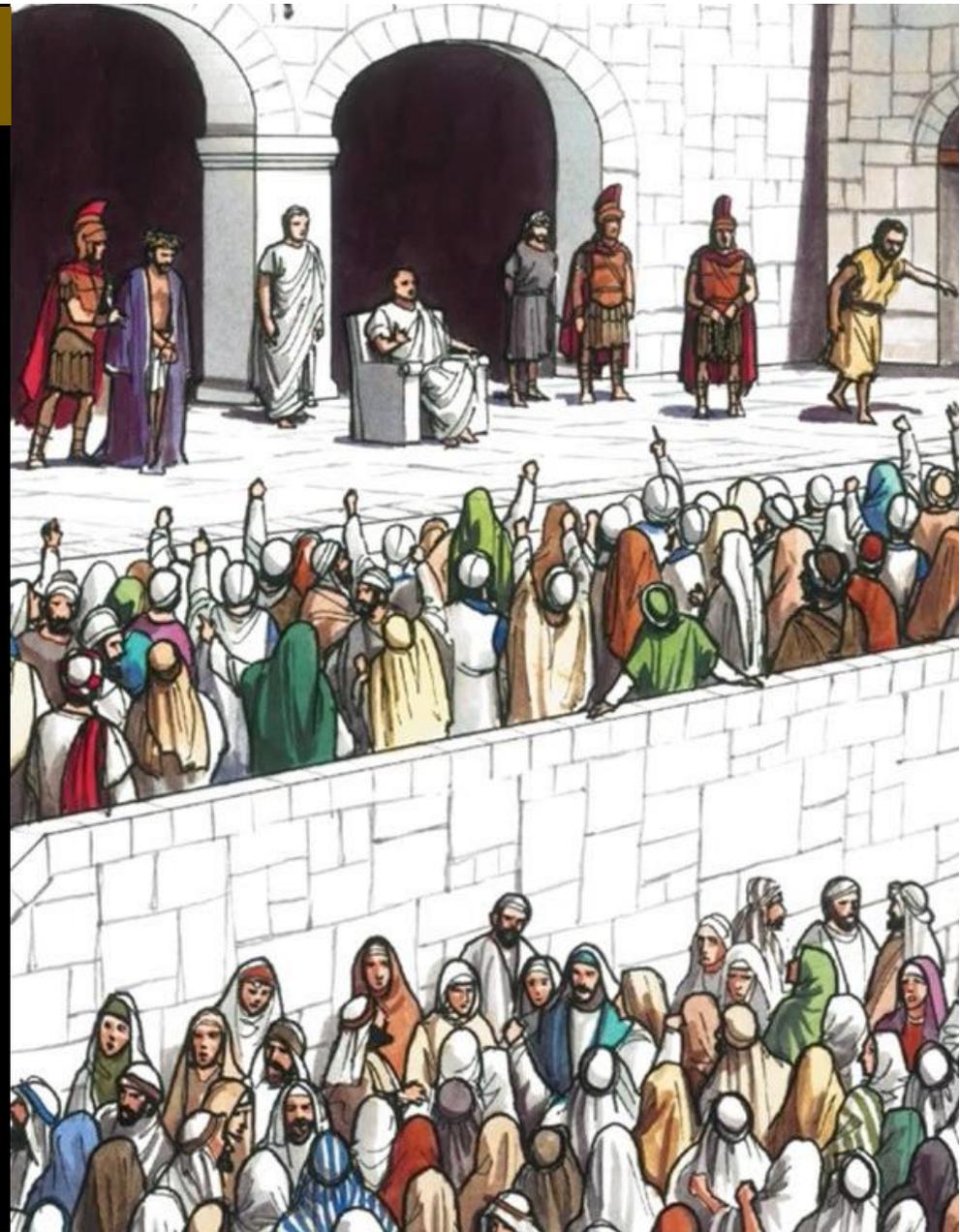
⑤律法の時代

十字架刑の宣告

ユダヤ議会の死刑執行の権限は、支配者ローマに取り上げられていた。

ユダヤ議会は、ローマ総督にイエスを引き渡すと、「十字架にかけろ!!」と群衆を巻き込んで圧力をかけた。

保身をはかった総督ピラトは、イエスに何の罪もないにも関わらず、十字架刑を宣告した。



⑤律法の時代 十字架への道

イエスはむち打たれ、
茨の冠をかぶせられ、
人々のあざけりの内に、
十字架にかけられた。



⑤律法の時代 メシアの神からの断絶

「わが神、わが神。どうしてわたしをお見捨てになったのですか」

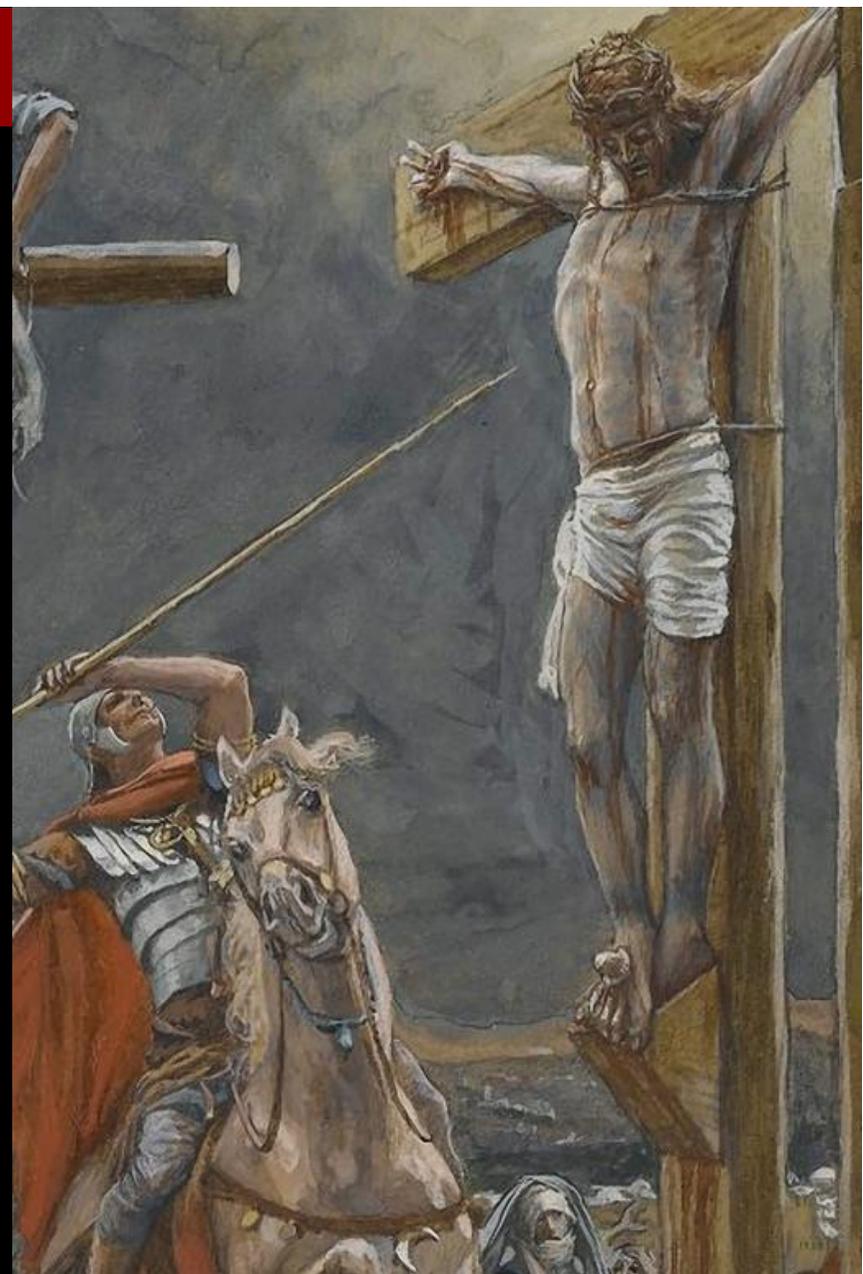
イエスは、完全に神から断絶され、神の怒りをその身に受けられた。



⑤ 律法の時代

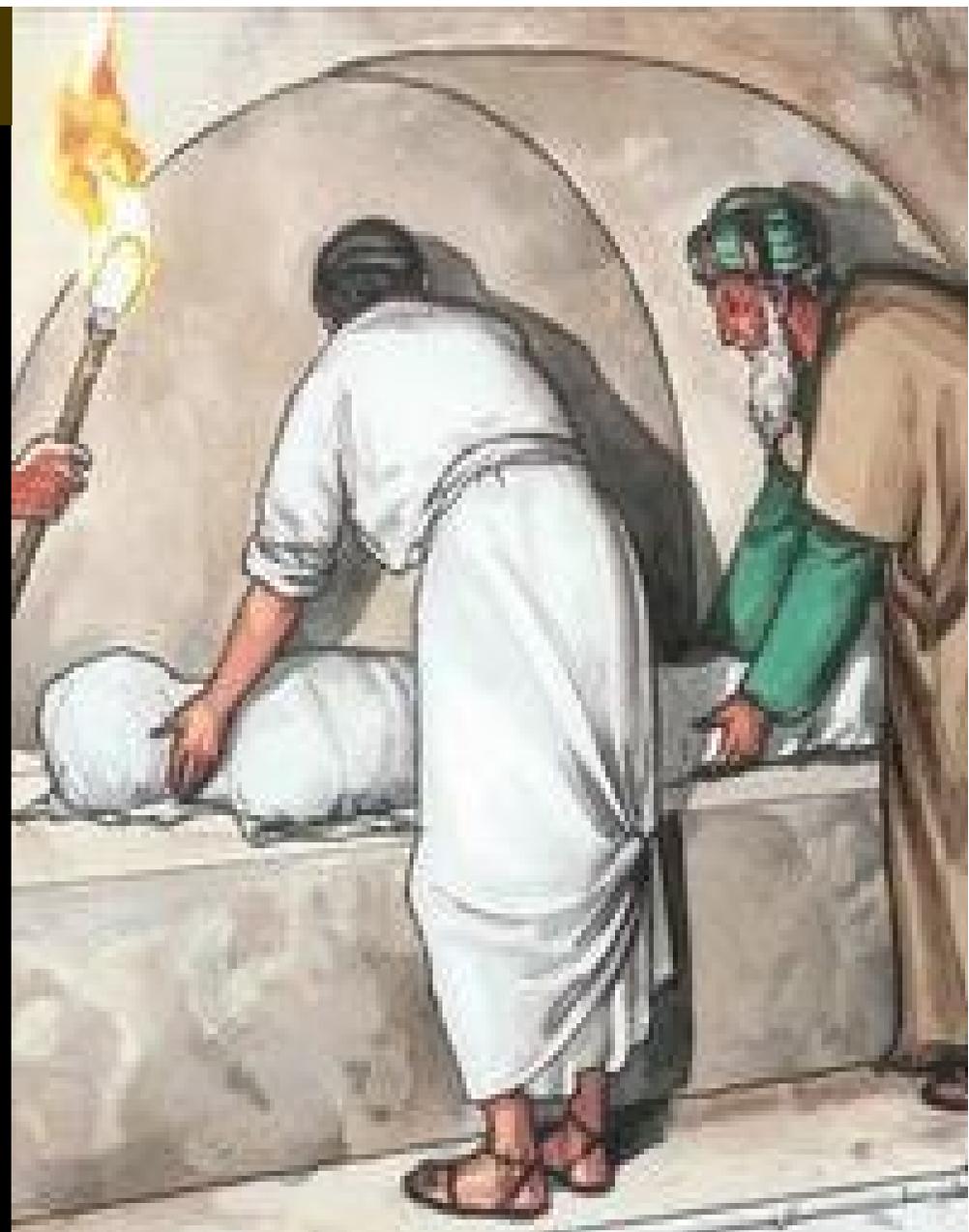
贖いの完遂

- イエスは、渴きを訴え、酸いぶどう酒を飲まれ、「完了した」と言われた。
- イスラエルと人類の罪は、イエスの死によって贖われた。



⑤律法の時代 メシアの葬り

罪のないイエスは、
罪人の私たちと同じように、
死んで、墓に葬られた。



⑤律法の時代

空っぽの墓

三日目の朝、女たちが訪れた墓は開いていた。

御使いが現れ、恐れる女たちに言った。

「あの方は、ここにはおられません。
復活されたのです」

墓の中は、空っぽで、イエスを巻いていた布だけが、残されていた。

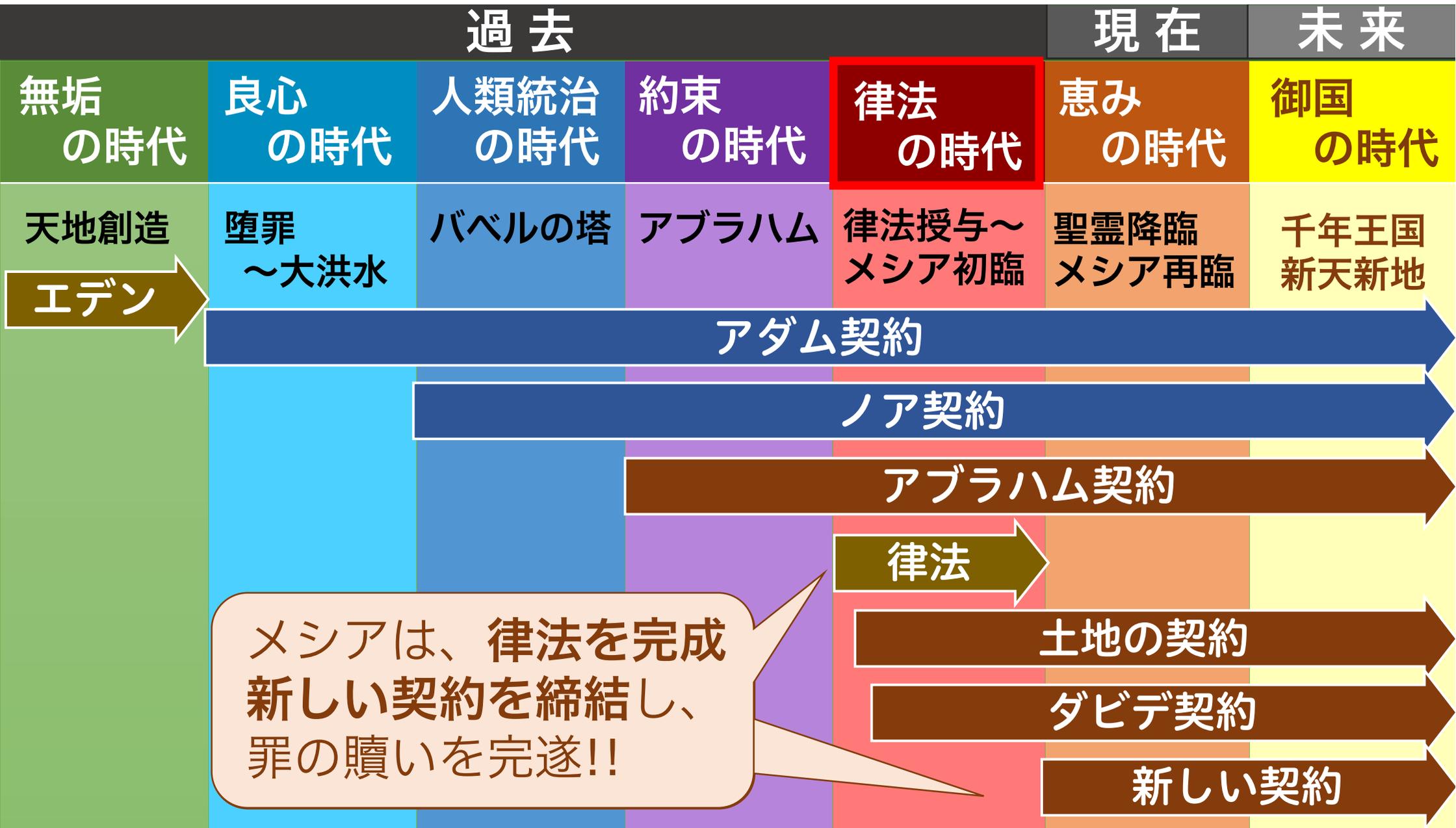


⑤律法の時代 メシアとの和解の食卓

この後、
栄光の復活のイエスは、
弟子たちに現れ、
さらに、ガリラヤで会われた。

一度はイエスを見捨て、
逃げ出した弟子たちは、
イエスに招かれ、
和解の食事を共にした。





⑥恵みの時代

⑧新しい契約の施行

⑥恵みの時代

聖霊降臨

イエスは、復活から40日後、
栄光の姿で天に昇られた。

十日後、ペンテコステの祭りの日、
祈っていた弟子たちに**聖霊**が降った。

弟子たちは、知らないはずの外国の
言葉を話し始め、世界中から集って
いた巡礼者たちは、驚いた。



聖霊による「新しい契約」が施行!!

⑥恵みの時代

教会の誕生

聖霊によって力がみなぎり、
ペテロが立ち上がって語り始めた。

「あなたがたが十字架で殺した
イエスが、メシアなのです。」

この日、3千人が主イエスを信じ、
教会が誕生した。

教会とは、イエスを信じた者の群れ。



聖霊によって教会が誕生!! 恵みの時代が始まった!!

⑥恵みの時代 迫害の中でも

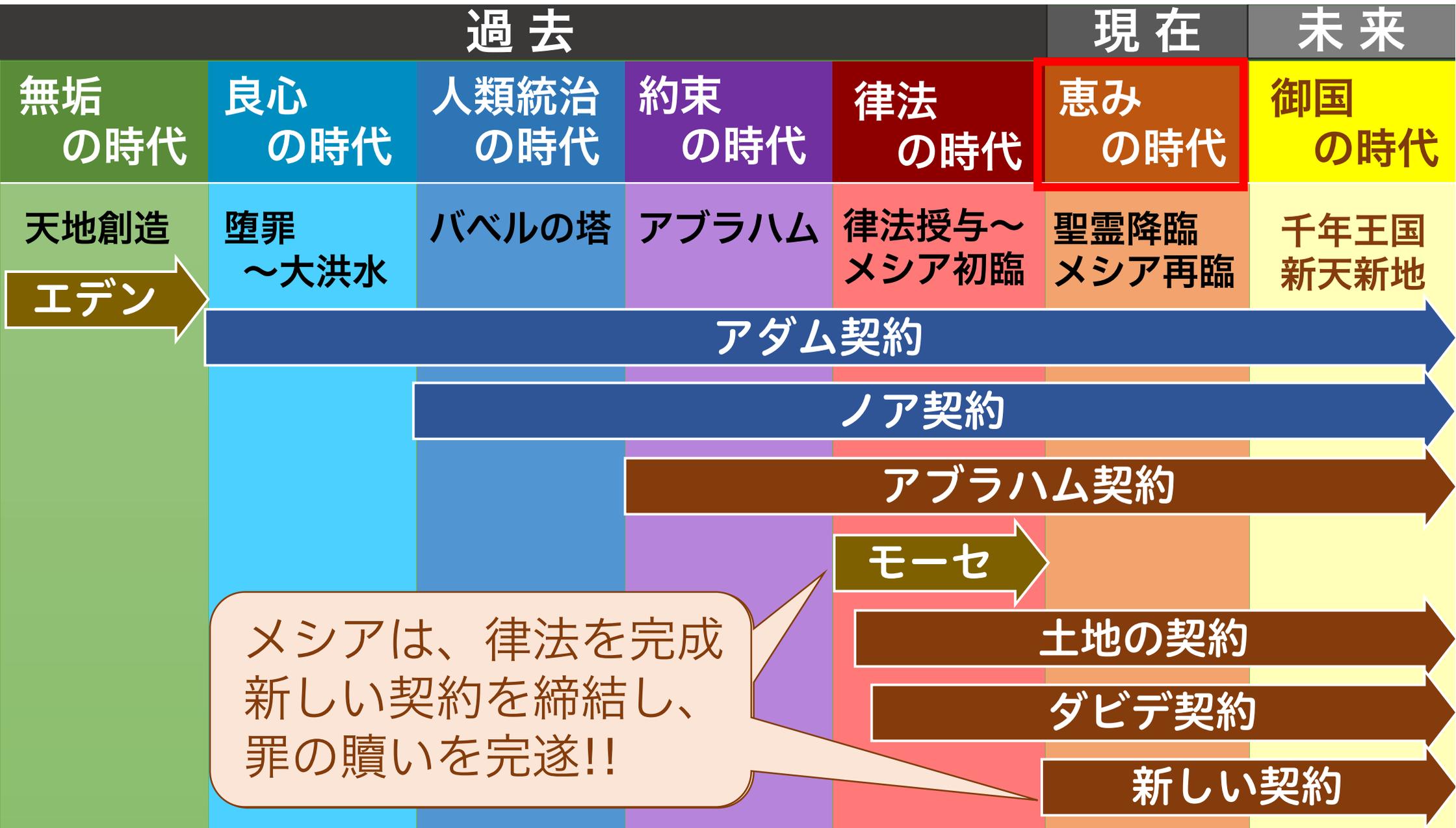
イエスをメシアと信じる人々に、
激しい迫害が起こった。

命がけで弟子たちが伝えたのは、
たった一つの救いの道・福音。

「主イエス・キリストは、
わたしたちの罪のために、
十字架で死んで、葬られ
復活された。」



人は誰でも
福音を信じて救われる



⑦御国の時代

契約の完成

⑦御国の時代

イスラエルの回心

聖書が預言するのは、イスラエルの国は復興するが、メシアを拒んだまままだということ。それが今の状態。

世の終わり、神の最後の裁きが、イスラエルに下る。(大艱難時代)
サタンの化身である反キリストの大迫害により、民族殲滅の危機に。

この時、イスラエルは民族的に悔い改めて、イエスをメシアを信じる。



⑦御国の時代

世界の回復

メシア、主イエスは、世界の王として**再臨**し、すべての悪を裁かれる。

メシアによって造り替えられた世界に、イエスを信じたすべての人が招き入れられる。

神の国の栄光の体と、永遠の命を与えられて。



⑦御国の時代

携挙の希望

福音を信じた者は、大患難時代の災厄を免れる。→主イエスの約束

ある瞬間、福音を信じたすべての者は、天のイエスの元に挙げられる。

(携挙・空中再臨)

間もなく来る、大患難時代の後、メシアによる神の王国に入れられる。

→携挙とは、世界の大リフォーム前の一時的な引っ越し



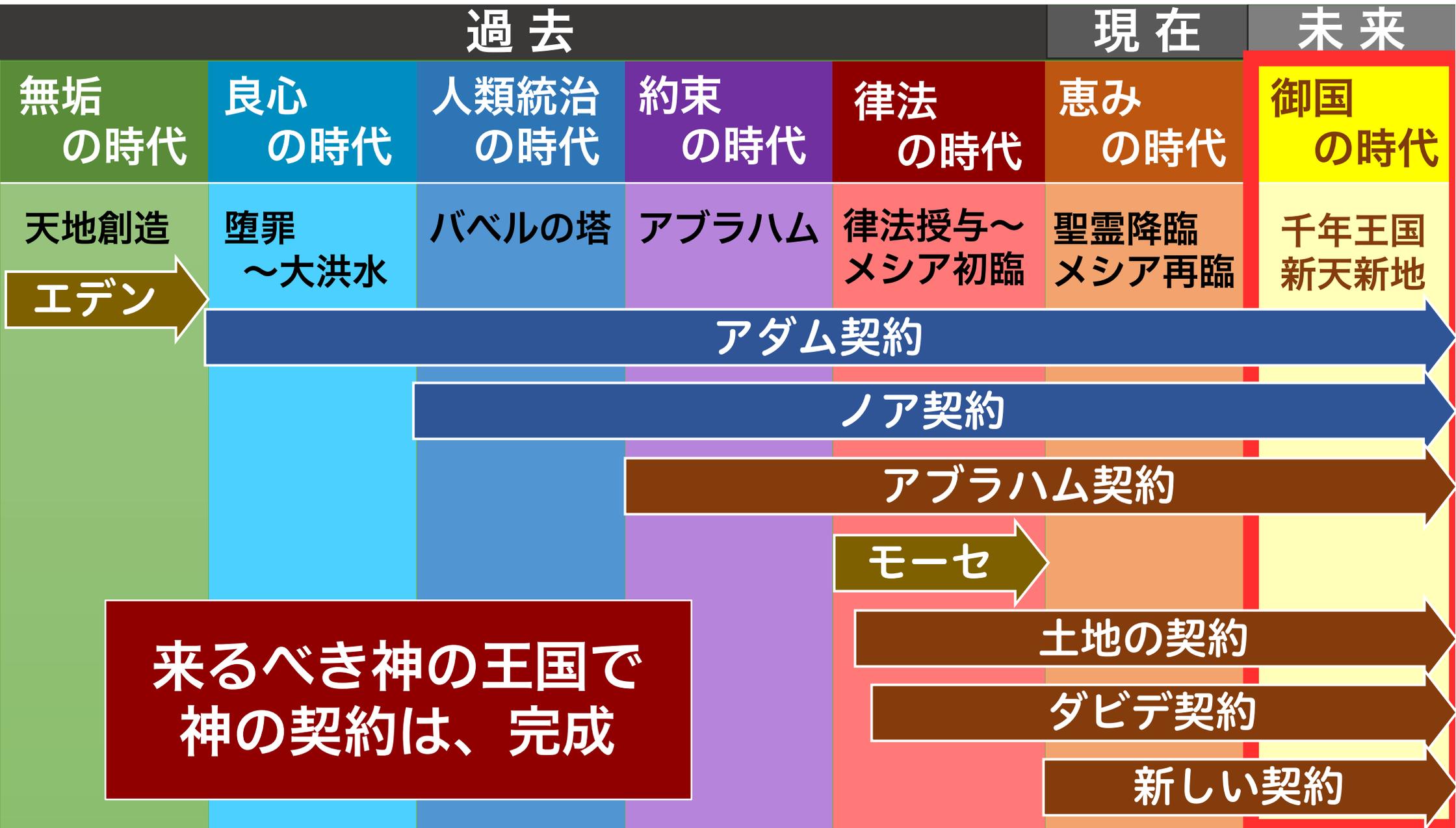
■黙示録21:3～4

「見よ、神の幕屋が人々とともにある。神は人々とともに住み、人々は神の民となる。神ご自身が彼らの神として、ともにおられる。

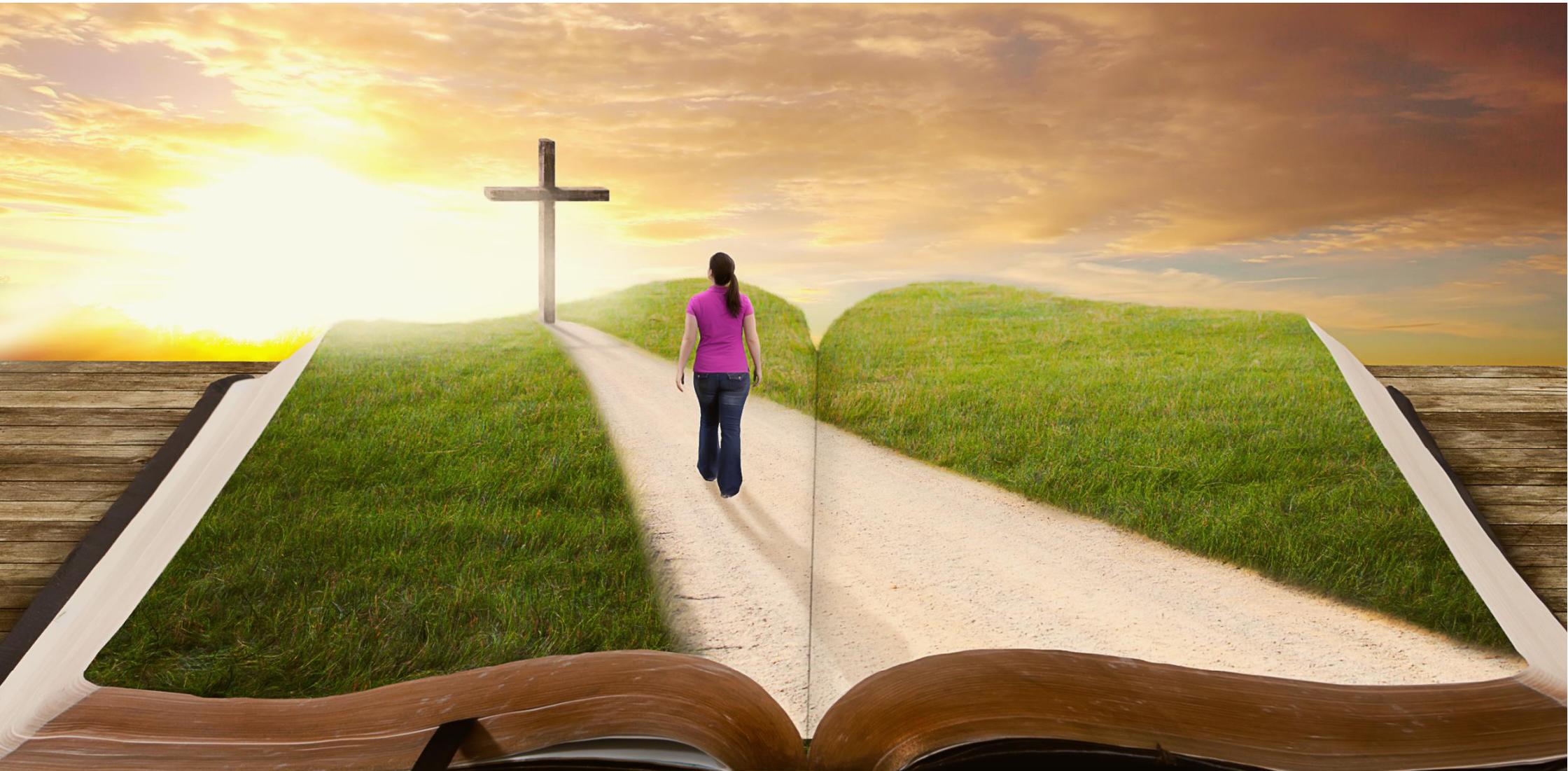
神は彼らの目から涙をことごとくぬぐい取ってくださる。もはや死はなく、悲しみも、叫び声も、苦しきもない。以前のものが過ぎ去ったからである。」



神の契約が完成し、神の栄光に世界は満たされる!!



来るべき神の王国で
神の契約は、完成

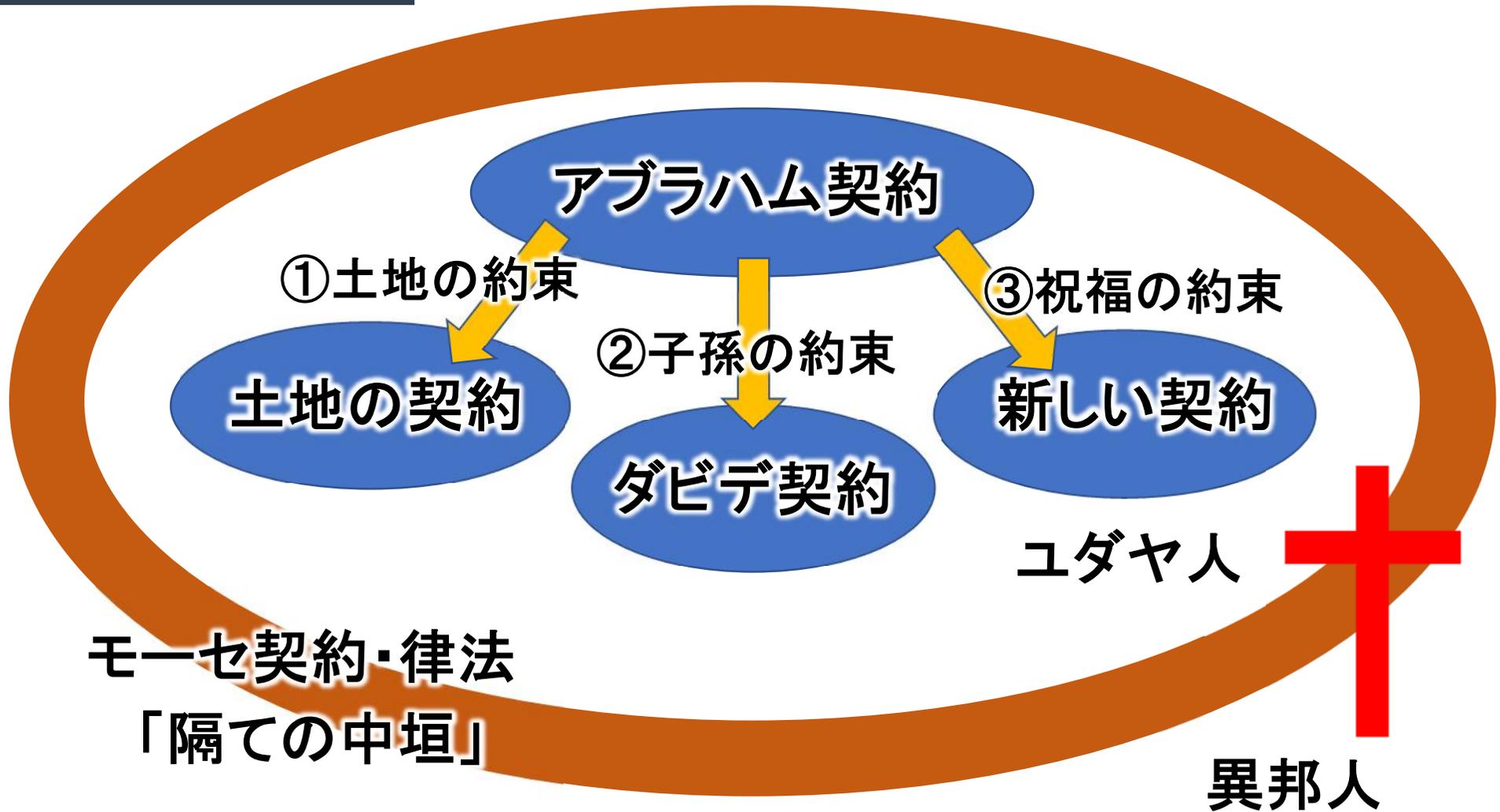


Ⅲ. まとめと適用

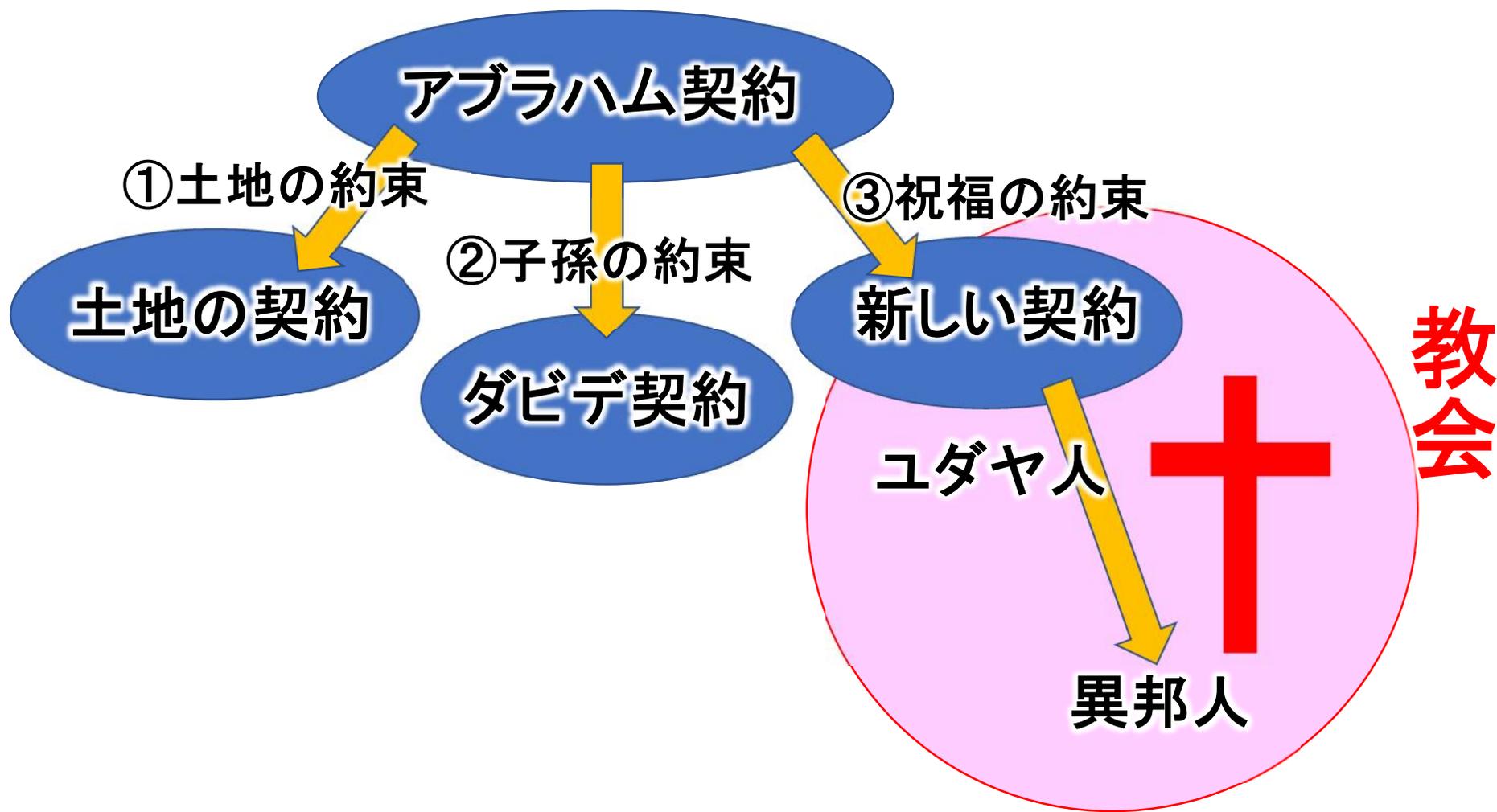
恵みの時代の使命に生きよう

ネゲブの荒野

契約と教会の関係



契約と教会の関係



恵みの時代の祝福の内に

■ 聖書が預言したメシアは来られた。

「神の子、主イエス・キリストは、私たちの罪のため、十字架で死なれ、葬られ、死を打ち破って復活された。」

■ 主イエスのもとに挙げられるその時まで、この**福音**を告げ知らせていくことが、

今の時代の私たちの使命。

福音を告げ知らせていこう!!

主イエスの証人として用いられるために

■福音を告げ知らせ、身をもって主イエスをあかししていく。
そのためには、私自身の成長が求められる。

■私を変えてくださるのが、聖霊だ。

聖霊によって、神の契約が、私の心に刻まれている。

■自分の欠けや弱さに向き合って、聖霊の助けを求めよう。
私を生かす、主の約束に従っていくことができるように。

聖霊に助けを求め、変えられていこう!!

★ 恵みの時代の使命に生きよう ★

■ 神の契約は、一方的な恵み。

世界も歴史も、私自身の存在も、神の契約の上にある。

■ 神の契約通りに成し遂げられた、主イエスの贖いが私の救い。

神の契約通りに、私は神の国で栄光の体を与えられる。

■ 聖書の学びを深め、契約の恵みを心に深く刻んでいこう。

福音を告げ知らせ、身をもって主イエスを証ししていこう。

永遠の神の契約に支えられて、遣わされて行こう!!

てん とう わたし つみ
「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください

わたし かみ こ しゅ
私たちは、神のみ子、主イエス・キリストが、

わたし つみ あがな じゅうじか し
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、

はか ほうむ
②墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん
③三日目に復活されたこと、を信じます。

わたし うち みたま えいえん めぐ けいやく きざ
私たちの内に、御霊によって、永遠の恵みの契約が刻まれました。

わたし かみ くに えいこう からだ あた えいえん しゅ す
私たちは、神の国で、栄光の体を与えられ、永遠に主と住まいます。

い あらわ よろこ かんしゃ ふくいんせんきょう つか
言い表せない喜びと感謝をもって、福音宣教に遣わされます。

しゅ しょうにん わたし はぐく もち
主イエスの証人として私たちを育み、用いてください。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」